

第6章 自由回答のまとめ

1. 育児中父母の自由回答

育児中父母からの自由意見として、子育てにかかわる地域活動に対して感じることなどについて回答してもらった。主な意見は次の通り。なお、カッコ内の件数は延べ件数である。

1 情報

(1)子育て支援活動

広報・PRの充実を（情報量が少ない）(326件)

- ・活動内容がいまひとつわかりづらい。ホームページや広報紙で詳しい活動内容の紹介などがあれば参加しやすくなる。ほとんどの親が育児に関心を持っているはずなので、みんなが参加しやすい地域活動になればいい。
- ・このアンケートを記入するまでこのような地域活動・ボランティア活動があることすら知らなかった。もっと大々的に宣伝するべきだと思う。
- ・参加したいと思っても、知らなければできない。情報を知る機会があればと思う。
- ・活動の広報や情報をもっとPRすることで参加する人も増えると思う。一度参加すればもっと参加したいと思うので、はじめのきっかけづくりが大切だと思う。
- ・活動内容や情報を学校などを通じて各家庭にアピールし、気軽に参加できるようにしてほしい。
- ・仕事をしていると、なかなか地域活動の情報が入りにくい。
- ・市役所や病院等安心できる場所でアピールがあったらいいと思う。
- ・子どもが少ない地域のためか、情報がほとんど回ってこない。
- ・イベント後のニュースは広報や地域新聞で目にするが、事前の宣伝や募集は知らないことが多い。もっとあらゆる面で知る機会を増やしてほしい。
- ・活動している一部の人がだけでなく、行政全体でPRや周知に取り組むべき。その際も決して「お役所仕事」にならないように努力すべき。
- ・居住地区だけでなく、もう少し広い範囲の情報がほしい。
- ・地域活動にかかわる人が最近多くなってきたが、知っている人と知らない人の差が広がる傾向にあるのでは？ 公共機関誌や新聞、テレビ、ラジオなどインターネット以外の方法での周知徹底が必要ではないか。
- ・情報が入ってこない原因のひとつは、1か所に全ての情報が集まっていないので、手に入りにくいということがあると思う。「ここに行けば行政でも民間でもどんな情報でも手に入る」という場所を作ってほしい。

(2)子育て

情報量が少ない(9件)

- ・インターネット上での子育て情報がもっと多く収集できるといい。
- ・子ども連れでも行きやすい場所、子どもと一緒に入れるトイレ、ベビー用オムツ替えシートがある...便利な情報入りマップがあると、子持ちママは出かけやすい。市役所などに無料で置いてあるといい。
- ・編入届けを出すときに役所で、もう少し詳しい子育て雑誌(冊子)を渡してほしい。
- ・もう少し保健センターや出張所で子育ての情報を交換できる場を提供してほしい。例えばベビーカーやベビーベッドなど、不要な人が必要としている人に無料か低料金で譲るといった情報をパネルに張り出すなど。
- ・母子手帳をもらうときに子育て支援の情報を提供してほしい。出産すると、動き回ったり、電話をかける暇さえ惜しいときがある。生まれたばかりの子どもと二人で煮詰まっている人

は意外に多い！

情報が分かりにくい（3件）

- ・幼稚園はどこがいいのかわからなかった。地元の人はその情報が自然と耳に入るようだが、外から嫁いでくるとわからない。
- ・新米ママは不安でいっぱいだと思う。昔の子育てより今の子育ての情報を提供してほしい。
- ・子育て中はどうしても外部との情報が途絶えてしまっているため、各家庭に連絡（情報）が入る方法を考えてほしい。

2 活動

(1) テーマ

自然体験（13件）

- ・自分でプランを立てにくい自然体験など、地域活動としてやってくれると、親子そろって貴重な体験ができてうれしい。
- ・遊べる場はあるが、遊び方がわからないので、無料で親子で参加できる自然教室を。
- ・キャンプや屋外活動をしてほしい。
- ・自然との共生の中で子どもと暮らしてみる体験をしてみたい。
- ・ゲームなど部屋の中の遊びが主流になりがちで、もっと自然に触れたりする活動を多くするべきだと思う。
- ・子どもたちにはもっと自然に触れて欲しい。そのために、地域で海・山・農業体験などをさせてもらえる活動を充実させてほしい。

創作活動（7件）

- ・スポーツ熱のほうが断然高く、芸術に触れる活動が少ない。いろいろなタイプの子どもがいるので選択肢を。

スポーツ活動（6件）

- ・子どもにもっとスポーツに関心を持たせる活動があったらいい。学校では勉強やいろいろな行事で時間がなくクラブ活動も物足りない。地域でもっとスポーツが気軽にできれば子どもの可能性が広がると思う。
- ・男の子のスポーツは多いが、女の子のものが少ない。

伝統文化の伝承（6件）

- ・伝統文化の伝承、地域のお祭りへの参加を呼びかけてほしい。
- ・昔ながらの日本の風習や文化を、おじいちゃん、おばあちゃんと触れ合いながら学べるといいと思う。

異年齢の子どもの交流（19件）

- ・縦のつながりの弱さを感じる。同じ地域の異年齢の子どもたちが自然に遊べる環境ができれば素敵だ。
- ・小・中・高と子どもがいるが、それぞれの活動はあっても共通した活動がなく、幅広い年齢でできるものがあたらいい。

同年代の子どもの交流（13件）

- ・他の学校の子どもたちとの交流（お互いの学校を訪問し合う）

- ・同じ年齢の子ども同士が遊べるといい。親も同じ悩みを持っているし、話せる場がほしい。

異世代交流（36件）

- ・核家族化が進んでいる現在、おじいちゃん、おばあちゃんの力を借りて年代を超えた交流があるといい。他人同士が暮らすという点では不都合も多々あるが、なかなかいいところもあると実感している。
- ・家の中に閉じこもりがちの高齢者と子どもたちの交流があるといい。
- ・子育てのすべを知らない親が増えている。自分の親とも離れて暮らしていることも原因だろうが、もう少し高齢者と親子も含めた温かみのある地域活動があるといい。
- ・以前住んでいたところでは、幼稚園児、小学生が老人ホームに遊びに行ったり、遊びに来てもらったりと交流があった。子どもたちとの交流で涙するお年寄りの姿に、子ども心に深く刻むものがあったと思う。異世代交流の少ない社会、子どもたちには異世代とのふれあいが大切。
- ・お年寄りから昔の生活やお話や経験を聞いたりするのはいいこと。いろいろな場所で聞く機会があればいい。
- ・核家族が増えているので、どうしても同年齢の人との交流しかない。年長者の知識も与えてほしいと思う。
- ・核家族化が進み、お年寄りと生活する子どもたちが減ってきている。いたわりの気持ちを持たせるために、世代を越えた交流が必要だと思う。
- ・若い人たちがばかりのサークルでなく、まだまだ元気な高齢者に少し力を借りて若い人、高齢者との交流も必要なのではと思う。昔の遊びなど教えてもらいたい。
- ・地域に三世代で子育てをしているグループがあるのを知った。文化的な要素も持てるし、その他の保育観がわかると思う。子育てのヒントとなると思う。

母親の交流（22件）

- ・子どもが小さいので、できるだけ親同士の仲間をつくりたい。そんな場として利用したい。
- ・年が近い人が活動に参加するといろいろな話ができるしとてもよいことだ。
- ・同じ悩みを持っている親同士で話ができたらいい。
- ・同じように子育て真最中の方たち“ 同士 ”が集うことのできる場が充実できればよいと思う。

相談活動・話し相手（43件）

- ・子育て中、本当に困ったときやストレスを感じる時、身近な相談やちょっとした不安を話せる相手は絶対に必要。特に子どもが病気やケガのときなど、ものすごく無理しながら必死に頑張ってしまうのが母親だから。
- ・子育て中の人には、表面ではわからなくても悩んでいる人、誰かに聞いてもらいたい人は多い。そんな人がもっと地域の中でいろいろな人とかわって成長したり助け合えるような場が必要になってくる。
- ・地域にもっと相談施設がほしい。
- ・若いお母さんの不安を聞いてあげるといいのでは。今の人たちは人にかかわるのが苦手になり、周りの人に相談することもできない人もいると思う。家事、育児、仕事に疲れているお母さんたちの気持ちをまず一番に考えてあげてほしい。
- ・子育てを終えた先輩や同じ年頃の子どもの持つ人に相談とまでいなくても、グチを言って「そうなのよね」と同調してもらえただけでも気分は軽くなる。
- ・子育てで悩んでいる人に必要なのは冷静な眼で判断してくれる第三者だと思う。
- ・育児に関する悩みを電子メールで回答してもらえ環境を整えてほしい。またはホームページ

ジで。

- ・子どもの体調が悪いとき、医者に行くべきか、薬をどうしたらいいかなど 24 時間相談できるところがほしい。
- ・子育て中の親は支援して欲しく、ボランティア等の活動をしている方々も支援したいと思っていると思うが、どうも両者間の距離が遠いような気がする。形式にこだわらず、親身になってくれる人を求めている。
- ・子育ての相談やサークルはよく目にするが、「こんなことは聞きにくいのかな？」等いろいろと考えてしまい、一度も利用したことがない。どのような形なら話を聞いてもらえるだろうか？
- ・年をとってからの子どものため、子どもと同年代の親と話しにくい気がする。子育てにとまどっている。

一時預かり (61 件)

- ・子育てにひと段落した人に一時預かりをしてほしい。安心な場所で、心に余裕のある温かい気持ちの人だと子どもも親も安心。
- ・子育て中の仲間が少しの時間子どもを一時預かりできるよう、お互い時間と場所を供給しあえるような活動をしてほしい。
- ・安心して子どもを預けられるところをもっとあれば、気分転換ができて、より楽しく子育てができる気がする。
- ・兄弟の場合、病院に連れて行くのに風邪を引いてない子も連れて行かないといけないので、一時預かりがあると助かる。
- ・子どもが小学生になり、さらに働きにくくなった。週 2、3 回のパート就労なので学童に預けるほどでもなく、学校まで 30 分ほどかかるので、通学も心配。小学生も気軽に利用できる一時預かりのような施設があると助かる。
- ・一時預かり等は有料のものが多く、気軽にとはいかない。無料が負担を少なくしてほしい。
- ・緊急時の一時預かりの情報を詳しく知りたい。
- ・親が急な時や、体調の悪い時に書類などの手続きがややこしいので、簡単に受け入れられる場がほしい。
- ・保育園の一時預かりを利用したくても、満員で断られることが多く、気軽にお願ひできない。
- ・近くに親戚がいらないため、急用で預けたい時でも預けられない。そんな時に電話で家事や育児を一時的にお手伝いしてくれるようなベビーシッターなどがあるといいと思う。

夜間保育 (3 件)

- ・夜間保育があると助かる。

公民館の活用 (2 件)

- ・公民館での活動があるといい。

児童館の充実 (1 件)

- ・児童館でもっと気軽に参加できる活動がほしい。

学童保育の充実 (24 件)

- ・3 年生までは学童があり、放課後や夏休みに預けられたが、4 年になるとなくなる。低料金で利用できる施設の充実をお願いする。
- ・共働きの家庭には学童保育は不可欠。

- ・幼稚園を卒園したら働こうと思っていたが、地域の学童保育の受け入れ人数が限られているようだ。学童の充実がないと不安。

放課後、土日の受け入れ（28件）

- ・放課後の居場所づくりが期待とかけ離れている。無理なら塾にでも...という考えも出てくるのではと思う。
- ・働く親として土日・放課後など気軽に預けられるところがあると安心して働ける。
- ・週休2日になりゆとりがもてると一時は喜んだが、現実には行き場もなく家でゴロゴロ。これでは貴重な子ども時代がもったいない。
- ・放課後・土日に子どもたちが自由に立ち寄れる施設が各保育園（幼稚園）単位（子どもが歩いていける距離）に設置できるととても助かる。
- ・学校週5日制になり、土日は遊べる子どもも少なく、家でゴロゴロしている状況。子どもが参加したくなるような地域との係わり合いのある活動をしてほしい。
- ・学校週5日制になり学力レベルの低下が進む中、土曜日を利用した学習活動（学校授業の補修等）を進めてほしい。

通学の安全性の確保（6件）

- ・子どもたちが安心して登下校できるよう力を貸してほしい。地域に子どもが少なくなり、特に下校時が心配。

安心して遊べる場の確保（31件）

- ・新しい団地なので、子どもが安心して遊べるセンターがあるといい。
- ・子どもを安心して遊ばせるところが少ないので、自然と一人遊びが多くなる。子どもたちをもっと外で遊べる環境づくりを地域全体で考えてほしい。
- ・公園の整備がきちんとされていると安心して子どもを遊ばせることができるので、そのような公園が増えるといい。
- ・子どもたちを安心して遊ばせられる場所が全くなく、室内遊びが中心になってきている。
- ・子どもが安心して遊べる場所（屋内外）があるとありがたい。子どもの連れ去り、交通事故など不安。
- ・次々に新しいマンションやビルが建設される中で、子どもがのびのびと遊べる場所が全くない。（公園もない）
- ・不審者の多さに驚き、怖くて子どもだけで外に出すのが不安ではない。

障害児への支援（21件）

- ・障害のある子どもを他の人に預けるのは不安があり、「なんとしても自分が」と母親が頑張ってしまうので、しんどいと思うことがある。障害に関して理解をもち、安心して任せられる人の育成に力を入れてほしい。
- ・育児書のマニュアルどおりには育てられない発達障害などを持つ障害児を対象にした支援はないのだろうか...。まだまだ誤解や偏見があり育てる側としては苦悩する。一人でも多くの人に理解してもらい、支えられながら地域社会の中で育ててもらいたいと願っている。
- ・障害児のデイサービスを要望する。現状では施設も遠く、自己負担もあり困難。送迎サービスがあると助かる。
- ・障害を持つ子どもに対しても健常児と同様な活動をしてほしい。子育て支援が年々充実していく中、障害を持つ子の子育てに関しては遅れを感じる。

不登校などへのケア（2件）

- ・不登校の子どもに対しての子育ての理解が地域活動にはまだ少ないのでは。
- ・不登校・精神的に苦しんでいる子どもと親の心を開いていけるような場をもっと広くつくってほしい。子どもが閉じこもらず活動できる場、また、外に出られない子どもを訪問して仲間として一緒に話を聞いてくれたらと思う。

妊産婦への支援（3件）

- ・出産前後のサポートを充実してほしい。近くに親兄弟がいない場合とても必要。
- ・買い物サービスや弁当の宅配が利用できたら、どんなに助かったかと思う。

21 夏休み等の際の受け入れ（11件）

- ・共働きなので、夏休みに預ってくれるところがあると助かる。
- ・キャンプに行った子どもが「来年も行きたい」と言っていた。親は仕事の都合で一泊旅行には行けないので、こういう企画をぜひ。
- ・共働きでも普段なら1～2時間くらい留守番はさせられるが、夏休みには学童保育にも預けられず、隣近所をお願いするのも毎日は無理で心配になる。
- ・小学生も夏休み中集まれる場所をつくってほしい。家に残して仕事に行くのは心配で、かわいそうな気持ち、悪いなあという気持ちで仕事に行っている。
- ・来春より小学校入学にあたり、放課後や夏休み中の過ごし方にとっても不安を感じている。子どもを一人で過ごさせるのは親自身も気持ちの上で負担を感じる。子どもが安心して過ごせる場所がほしい。

22 子育てに関する講座・講演会等（2件）

- ・子育てに関する講演会を開催して保育の充実をしてほしい。

23 専業主婦への支援（5件）

- ・会社員から急に専業主婦になると、あまりのギャップに耐えられない。「あなたは家にこもって子育て、家事をしていればいい」と地域全体、社会全体が言っているように感じる。かといって相談できる相手もない。「子育て中でも大丈夫。あなたが地域社会に出てくる場はたくさんあるのだから」という勇気やきっかけを与えてくれる活動が少ない。
- ・家で一人で頑張っているお母さんに対する支援がほしい。仮にそれが存在しても周知されていない。できるだけ妊娠中に母親学級、産婦人科で情報を提供し、スムーズに必要な支援を受けられるようにしていくことが大切。

24 しつけ（4件）

- ・挨拶をする、履物をそろえる、掃除をする、約束を守る。たった四つを徹底することで変えられる。親の価値観がそのまま子どもに影響しているので、親の責任が重大だと痛感している。
- ・日ごろ関心のあるしつけ・食育などの講座・研修会が参加しやすい距離にあれはうれしい。
- ・理想の子育てとは？ 学歴をつけること？ 金儲けができる教育？ 正義を教えること？ わからないので、道徳を教え、知識をつけてもらうことが親としての努めと思っている。

25 ボランティアの育成（9件）

- ・ボランティア養成講座などを充実させることが大切。
- ・子育てボランティアを利用しようとしたら、「名前を登録しているだけ」と言われた。実態の

ないものが存在しているだけで失望した。

- ・リーダー教育を充実させて意識の向上を図りたい。
- ・指導者のリーダー性を伸ばす講座などでしっかり学習できる機会を増やしてほしい。

26 人生の先輩の活用（15件）

- ・できれば子育てにかかわる人は子育て経験のある信頼できる先輩方をお願いしたい。
- ・定年になった若いおじいさんにもっと子どものことについてかかわってほしい。
- ・「しつけ」「礼儀」などをおじいちゃん、おばあちゃん世代の人をお願いしてはどうか。
- ・60～70代の方々もぜひ子育てに参加・協力してもらえると、本当に親も子も温かく見守られている感じがすると思う。
- ・放課後の学童保育の時間に学校の先生のOBの皆さんが勉強だけでなく、雑学を教えてくれている自治体があると聞き「いいなー」と思った。
- ・退職した先生などに自習教室の講師ボランティアなどしてもらえるとうれしい。

(2) 運営

役割負担を少なく（24件）

- ・どうしても同じ人に頼りすぎる傾向があり、負担がかかりがちなので、多くの人に参加してもらい、交代できるようにするとよい。
- ・積極的に協力してくれる人もいれば、預けっぱなしの人もある。みんなのできることを少しずつ手伝うという意識がなければ中心メンバーの負担が大きくなりすぎて長続きしない。
- ・少子化のため、ボランティア活動も幼い子を持つお母さんがせざるを得ない等、自分の子育ての負担になっていることがあります。

活動拠点の確保（6件）

- ・公共施設を上手に利用するなどして活動拠点を確保したいが、そういう意見を出す場所や機会がない。
- ・地域の子どもに昔の遊びや集団遊びなどをする活動をしているが、雨の日などは公民館が予約いっぱい使えない状況。

リーダー中心にしない（3件）

- ・「しきっている」「私がやってあげてる」という人が会の実力者だったりすると、二度と行きたくない。
- ・リーダーの友だちの集まりのようになり、なかなかそのグループに入れないと、ボランティア活動をしたくてもできない。
- ・リーダーがメンバーの意見を聞けず、自由な発言ができないという面がある。メンバーみんなが活躍できるような役割分担や、運営する人と活動する人の共通理解・信頼関係・言論の自由があるといい。

定員を増やす（13件）

- ・参加人数がすぐに埋まってしまうので、もっと定員を増やしてほしい。
- ・人気の講座はいつも抽選ではずれ。母親たちがその場を必要としている証拠。もっと多くの人が参加できる取り組みを増やしてほしい。
- ・地域活動に親子で申し込む機会があったが、定員数が少なく、定員オーバーで参加できなかった。良い企画がもったいないと思った。

子どもが忙しく集まらない(10件)

- ・習い事などがあり、子どもの参加が少なくなっている。
- ・子どもの数が減ってきて、地域の行事を行うにしても少なすぎて活動に制限が出てきている。

ある程度の有償(16件)

- ・たとえボランティアであっても活動をしてくれる人にはわずかでも謝礼を払うべきではないか。無償では長続きしない。
- ・ボランティアでも、交通費くらいはみてほしい。それでないとう主婦ではボランティアはできない。
- ・活動してもらった方にお金を払うのは当然だと思う。「ただ」と聞くと自分も飛びつくが、やはり「根本的におかしい」と思うのは私だけ?
- ・託児などは無償では気兼ねするし、不安。(しかし有償では時間単価が安いと信頼・信用度で疑問が残る)
- ・自分の子育て経験をすぐ活かせるようにボランティアに参加したいが、経済的に苦しいので有償だと助かる。
- ・長く続けてゆけることを考えると、有償ボランティアという形が理想なのでは? せっきくの意思があっても続けていくのはむずかしい。国や企業が様々な形でサポートしてくれるのも望ましいと思う。
- ・ボランティアを頼むときに気を使いがちなので、時間でいくらと決めてもらうと頼みやすい。

(3)参加

気軽に参加できる(61件)

- ・自分だけで子育てに悩んでいる保護者が周りにいることすら知らない世の中。気軽に参加できる活動を望む。
- ・はじめの一步を気軽にできるように。
- ・気軽にかどうか、肩肘張らずに毎日の生活の中で自然に地域活動に参加するのが一番の理想。
- ・もっと分かりやすくしてほしい。いろいろと登録が必要など面倒くさいことが多い。
- ・地域活動・ボランティア活動等「続けなければ」と思うと、一步踏み出すことができない。簡単にいつでも誰でも参加できるものがあるといいと思う。

日時の融通がきく(55件)

- ・仕事をしている人は平日に活動されても行くことができない。活動する曜日を考えてほしい。
- ・サークルに参加したいが、毎行かないといけない気になるので、心苦しい感じを受ける。
- ・いろいろな人と知り合える良いきっかけなので、地域活動にはできるだけ参加したいと思っているが、働いているので、平日のイベントには参加しにくい。土・日・祝日にも実施してもらえるとありがたい。
- ・仕事が忙しく、ボランティア活動までなかなかできないのが現状である。気持ちはあるが、あまり強制的にならず、曜日・時間など自由に参加できるシステムをつくり上げていければと思う。
- ・毎日やっていて自分の好きな時間から参加でき、好きな時間に帰ることのできるような都合の良いサークルがあると良い。

イベントよりも日常活動(2件)

- ・常時開放されている児童館のような場所がない。行きたいとき、行けるときに利用できる場所がほしい。

- ・イベントを年数回やるよりも地域に子育て相談ができる人が常にいる、公園などの遊び場が安全で清潔であるなど日常的なボランティアがほしい。

条件があれば参加したい(99件)

- ・今は仕事が忙しく地域活動にはあまり参加していないが、子どもとかかわっていただけることならどんどん参加していきたい。
- ・地域活動は参加できるなら参加したいが、時間の都合が合わなかったりでなかなか出られない。
- ・子育てが終わったら参加したい。
- ・ボランティアには以前から興味があったので、自分の時間が少しできた頃支援する側として参加したい。
- ・仕事とのバランスの取れた活動で時間や曜日の融通がきけば参加したい。
- ・自分にも何かできる方法や魅力があれば参加したい。
- ・定年退職し、時間に余裕ができたなら、自分自身のできる範囲でボランティアに参加したいと思っている。
- ・お手伝いするまでは人との関わりが大変だと思いがちだったが、実際にやってみると楽しいと思う。自分ができることを自分に無理なくできるように参加したい。
- ・子育てが一段落して、なおかつ経済的な余裕があれば考えようと思う。
- ・時間に余裕を持てるように工夫しながら、家族で参加できるボランティアなどに目を向けてみたい。

きっかけがない(4件)

- ・どういう形でかかわっていけばいいのか、きっかけがない。
- ・地域活動をしてみたい気持ちはあるが、今一歩踏み出せない人が多いと思う。きっかけがあれば参加するようになると思う。
- ・助けを必要と感じている人はたくさんいると思う。ただ、関わり方がわからず、日々の生活に追われている。

忙しい・時間の都合が合わない(106件)

- ・仕事をしているため活動には参加できなく、自分が経験したこと、「育児書にはこう書いてあるけど、私はこうです」という場が持てないが、チャンスがあればお役に立ちたい。
- ・共働きでそういう活動の存在や内容を知らない。参加者は時間的余裕がある人に特定されるような気がして、たまに自分に時間的余裕があっても参加するにはかなり抵抗がある。
- ・不景気等仕事に余裕がなく、地域活動に参加の意志はあってもなかなか参加できない。
- ・地域でも活動をしていることは知っているが、仕事をしているので日時があわず参加できない。休みが日曜日しかなく、日曜日は家事に追われて残念。
- ・働いていると平日はむずかしい。休日の活動を増やしてほしい。
- ・勤務の関係で参加は不可能だが、子育ての地域活動は必要だと考える。活動が始まれば参加もできるかもしれない。
- ・学校からいろいろな活動の案内をもらってくるが、期日が近くて仕事の休みを取ることができないため参加させたくてもできないことが多い。
- ・仕事を持ちながら家事をこなし、休日は学校行事などがあり多忙。何も無い休日は家族の時間を大切にしたい。
- ・時間にゆとりがとれず、地域活動やボランティア活動まで関心が持てないのが実状。

子どもと一緒に（48件）

- ・子どもとともに参加できれば、教育面や親子間の育成にもプラス面が大いにある。
- ・子どもと一緒に休日に活動できれば、参加する人も多いのでは？
- ・子どもが楽しいだけの場ではなく、また、子どもをボランティアに預けるだけの場ではなく、親と子が一緒に楽しめる活動の場になってほしい。
- ・子連れ（保育園児）でも気軽に参加できる活動があればうれしい。
- ・夏休みなど、家族全員で参加できる行事があればと思う。
- ・学校が休みの日に、親子で参加できるような活動を計画してほしい。
- ・子どもに関するテーマの講演に参加したくても、子連れでは参加できないとか、託児サービスがあっても乳幼児は不可では意味がない。
- ・ボーイスカウトの活動をしているが、子どもだけで参加させる傾向がある。親子で体験すれば楽しみや大変だった時間も共有できるのと思う。
- ・子どもを連れて行くと迷惑がられるケースがあるので、行くことが遠のく。
- ・母親一人で何人かの子どもを連れて参加しやすい活動があれば良いと思う。

子どもだけでも参加できる（5件）

- ・時々チラシなどで案内を見るが、保護者同伴が条件になっていて、参加させたくても見送らざるを得ない。
- ・子どもが主体で動くイベントが少ないのでは。親がかかりすぎ？
- ・下の子どもに手がかかるので、上の子どもだけでも参加できるといい。

対象年齢以外の子連れでも参加できる（26件）

- ・対象年齢が区切られていると、上の子は参加できるが下の子は無理ということがよくある。親子参加型や託児があれば参加しやすくなる。
- ・子どもが小学生、中学生であっても、下の子が乳幼児だと、参加の意思や時間があっても連れて行ってもいいかどうか参加の判断指標になる。
- ・上の子を遊ばせるとき下の子が、下の子を遊ばせるとき上の子の居場所が難しい。複数の子を持った人が行きやすい場所があるといい。
- ・年齢制限があると、兄弟姉妹を連れて行けず、参加を見合わせるということがよくある。現在の日本は核家族が中心なので、これからは家族全員、老若男女、男女問わず募集してほしい。
- ・未就学児を対象とした「ふれあい広場」に参加している。夏休みなどは幼稚園に通っている上の子と参加したいのだが、断られてしまった。児童センターでは上の子はOKでも下の子は駄目。こんなのって変ですよ？
- ・年齢制限等で兄弟での参加ができずに諦めなければならないときもある。一人の子どもに一人の親といわれるときもあり、二人以上の子どもを連れて行けないこともあった。
- ・学校を通していろいろな行事を地域の方が催してくれるが、就学前の子どもが参加できる行事が少ない。

交通アクセスを良くする（3件）

- ・子育てサロン等をやる施設は、車がないと、行きにくいところにある。車がない人のためにも、定期バス（老人ホームの送迎バス等）と兼用などの対策を。
- ・子育てに関する講座等に行きたいが、子育て支援センターはバス、電車を乗り継いで行かないとダメ。

施設の駐車場の整備・無料化（6件）

- ・乳幼児を連れて参加する場合、駐車場が遠くて困る場合がある。優先場所を設置してほしい。
- ・新しく設備の良い施設ができたが、利用するたびに駐車料金がかかる。せっかくプレイルームに子育てボランティアの人がいるのに利用しにくい。
- ・車で利用がほとんどなので、駐車場を無料にしてほしい。

気遣いのない人間関係（4件）

- ・何も考えずに話できる人がいるといい。気を使ったり、こんなこと話したらどう思われるだろうと考えると話せなくなるから。意外にお母さんたちは「私がいけないのかも」と自分を責めてしまう人が多い。
- ・高齢出産の母親はつい疎外感を感じてしまいがちなので、気遣いなく参加できるといい。

参加メンバーが固定していて参加しにくい（47件）

- ・メンバーが決まっていて輪の中に入りづらい。新しい人が多く、少人数のベテランさんという構成だと入りやすい。
- ・参加する人たちがいつも同じ。もっといろいろな人にも参加してほしい。
- ・いつも特定の人が参加している。少なからず子どもを見てもらっている人は、たまには活動に参加すべきでは。
- ・子どもを預けっぱなしで、「お手伝いいただけますか～？」の声にも、いつも決まった人しか手を挙げない。代わる代わる子育て中の親がボランティアになったらいいのと思う。会費を払って預けっぱなしではどうかと思う。
- ・女性中心で入りづらい。男性も入りやすく！
- ・友だちと一緒に気軽に参加しやすいと思うが、知らない中いきなりは入りにくい。
- ・中に入ってしまうと、いろいろ情報も入り利用しやすくなるのだろうが、最初の入り口が狭い。すでにグループができていて入り込めない雰囲気。
- ・活動のメンバーが固定してしまう。効率的な活動運営は可能だが、進化・変化が乏しくなってしまう傾向がある。
- ・ある種、一つの特異な集団と見られることもあるのでは…。新しい人をスムーズに受け入れられる環境づくりが必要だと思う。
- ・子どもたちもグループ化が進んでいる。親同士もグループ化しており、子どもの交流が制限されている。グループ化しない活動を望む。
- ・熱心に活動されている方が多いと思い、敷居が高くて輪の中に入れない。

積極性のない人の参加をどうするか（2件）

- ・子育てサロンやサークルに出てこられず、家に閉じこもっているような親子もたくさんいると思う。何とか外に出る機会、人に接する機会を持って欲しいので、何か対策を考える必要があると思う。
- ・こうした活動は参加するまでは億劫だが、参加してみるととても楽しいもの。そういう躊躇している方々の背中を押す仕組みを充実させてほしい。

託児の整備（15件）

- ・子育てに関する講座は託児を設け、親が集中して聞けるように配慮してほしい。子どもと一緒に参加できる催しも大事だが、親が自分の趣味や講座に参加しやすい工夫をしてほしい。
- ・中高年の会にはベビーシッター、託児所を設置してもらわないと、若い女性は参加できない。
- ・年齢制限のある行事などで、参加できない子を預かってくれる託児施設があるとうれしい。
- ・親子で参加できるのはありがたいのだが、勉強会や講習会の時には無料の託児があるといい。

- ・地域活動に参加したくても、乳飲み子を預ける施設さえない。「おじいちゃん、おばあちゃんに見てもらって下さい」という行政側の言葉にも驚いた。近くに見てくれる人がいない私たちはどうすればいいのか…。

費用負担を少なく（14件）

- ・いいな—と思ったイベントがけっこう高いお金（親1人子2人で3000円）だったりすると、ちょっと控えてしまう。
- ・無料で参加できるイベントがもっと必要！
- ・参加家族で経費を割っていたが、お金が高いため入会する人が減り、サークルもつぶれてしまった。
- ・子育て支援のためのボランティアが有償であってもいいが、価格はもう少し考慮したほうがいい。
- ・参加費が無料・有料では、参加者が大幅に違うように感じる。

3 意識

(1) 親について

母親の負担が大きすぎる（5件）

- ・ただでさえ仕事を持つ母親は子どもが病気のときなど有給休暇を取らないといけないのに、休めないときがある。また、女性が男性並みに仕事をさせられ、なかなか理解されない。子どもが大きくなるまで母親の負担を軽くできないか。
- ・母親の育児によるストレスはすごい。子どもを預けて一人の時間を持つことの大切さをつくづく感じる。

父親の子育て参画を（17件）

- ・地域活動は母親が参加するもののほうが多いので、「父親と子ども」といった形で行事があればいい。父親が参加しているものが少ないので、ますます参加しにくいのではないか。父と子のつながりを強くするためにも。
- ・子育てはほとんど妻に任せてしまい申し訳ない。男女共同参画など計画を立てているが、自分が変わっても、社会、企業が変わってくれないと、女性に負担がかかりすぎる。
- ・父親の行事、地域活動への参加が少ない。父親がもっと積極的に行事、活動に参加して、子育てに真剣に取り組んでいることを子どもと母親、様々な人たちにアピールすべき。
- ・生きる力が強い健全な子どもを育てる「子育て」を世の父親たちがしっかりと認識してほしい。母親の子育てをサポートするために社会環境を整備してほしい。
- ・今後の男女共同参画時代に向けて、お父さんや若者にも子育てに興味を持ってもらいたい。
- ・子育て広場に行ったことがあるが、母子ばかりで父親は参加しにくい雰囲気だった。男性の保育士さんやボランティアさんがいれば、参加しやすいのでは？

子育てに不安がある（1件）

- ・情報が多く、子どもの個性を本当に伸ばせているのか、親の意見・考えを押し付けてはいないか不安になることがある。

自分勝手（9件）

- ・サークルに子どもを任せて自分の趣味や興味のあることに出かけていくという話を聞くと、残念。子どもと一緒にいろいろな体験をして、家に帰って、そのことを話題にして家族で話をしてほしい。

- ・子どもの活動に興味を持たず、子どもをほったらかしにしている親が多い。地域活動やボランティアは親子で参加した場合、子どもが活動の中心になるべき。保護者は、お客さんではなく、主催者に協力する立場で参加するべき。

団体活動ができない（2件）

- ・親と子どもの集団活動に対する考え方が変わってきている。このままでは団体活動ができない日本人になってしまう。

他人任せ（3件）

- ・自分の子どもに対して人任せの親が多い。地域活動でも責任者任せで、自分で責任を持って参加している人が少ないような気がする。
- ・自己中心的で人任せの人が多く、子どもは親をしっかり見ている。親の自覚、祖父母の協力等家族の絆が子どもの成長に大きく左右する。

人間関係がわずらわしい（10件）

- ・自分が参加した頃は親同士が企画を立て工夫しながら活動し、同じような子育てママと知り合え、情報交換もできた。今は見学には来るが「親がいるいるとしなければいけないのは面倒」と参加しないと聞く。誰かのために、何かのために頑張ろう、協力しようという人が少なく、コミュニケーションを面倒ととらえる人が多い。それでは子どもの世界も広がらない。
- ・人間関係のいやらしさがあるので、参加できない。
- ・人間関係がわずらわしいという声をよく聞くので、参加はなるべくひかえている。
- ・子育てに関わる地域活動にも適切な距離が必要。関わりすぎるとプライベートな活動が制限される。
- ・自分ができる範囲での参加はしてみたいが、その活動に直接関係ない問題(参加者同士の・・・)に巻き込まれるのは嫌だ。

全てを背負わず子育てを楽しむ（1件）

- ・子どもと正面からぶつかったり、時には受け止めながらの子育て支援をうまく利用し、全てを背負うことのないよう、ともに子育てを楽しめるようにしていきたい。

親を追い詰めないでほしい（1件）

- ・一人ひとりの個性を認め、傷つけることのないよう、「今の親は…」と追い詰めることをせず、親、子どもに寛大に接してほしい。

子育ては支援に頼らず家庭でやる（12件）

- ・少子化が進み、子育て支援を充実させるのはわかるが、そこに重点を置くのはおかしい。同居世帯で大家族なら人を思いやる心や我慢する心が生まれる。このような家族こそ奨励、保障すべき。子育ては、家族の力をあわせてやるべき。
- ・子育ては基本的に親がすべきだと思っているので、そんなに地域活動に参加しないといけな
いのか？
- ・家庭が子育て意識を高めることが必要。地域や学校に求めることばかりではよい子は育たない。
- ・自分の子は自分で育てるのが基本。

支援する側とされる側に意識のズレがある（10件）

- ・子育て中の親は忙しさを理由に「してもらうのが当たり前」という考え方に偏ってしまい、先輩方は「こんなにしているのに」となる。双方が「おかげさま」にならないと、ボランティアは発展しないと思う。
- ・支援する側は一方的に満足している場合が見受けられる。支援される側もお願いしているので、自分の意見を言えずにいる。人間対人間なので、トラブルになったときのフォローを講じてほしい。
- ・本当の意味での支援とはなんだろうか？ 気軽に自分の都合で、「手伝ってよ」「預ってよ」が支援ではないが、支援される側はそれを望みすぎる。
- ・子どもに関わるスタッフの共通理解（目的・内容・方法・基準等）が大切だと思う。

親育てが必要（15件）

- ・子育ても大事だが、親育ても大事。
- ・子育てには「親らしく」生きること、「親らしく」子どもと接することが大切。若い親の方々に「苦言」と思われても、「らしさ」を考えてもらわないといけないのでは。
- ・子どもを預けっぱなしでほったらかしの親が多すぎる。そういう親を教育してほしい。
- ・子育てや、子どもの教育に対して「あなた任せ」で人に頼る傾向はよくないと思う。「子どもの教育」以前に「親に対しての教育」が必要だと思う。人間としての必要なモラルや心の優しさ、温かさを養う環境を考え直したいもの。
- ・地域活動、ボランティア活動というよりも、親の教育力のなさがこんなところに力を入れていかなければならない結果となったことを見逃してはいけないと思う。

子育て中でも地域活動はできる（3件）

- ・子育てをしながらでもボランティア活動ができるということをもっと多くの人に知ってもらいたい。アピールをしてもなかなか参加してくれないのが現状。市でもっとアピールしてほしい。
- ・子育て中の方で活動に無関心な方がいるのが残念です。利用したり要求するだけでなく、自分たちも積極的に活動に関わることも大切だと思う。今後、意識改革にもつながるのでは？ みんなが参加し、関わられるような働きかけをしてほしい。

地域活動の必要性を感じてほしい（29件）

- ・最近のお母さんはネットで情報交換することが多く、どこかに出かけて活動に参加しようという思いが少ない。人と出会って交流を深めようという思いが少ない。
- ・予想もつかない事件が起こる昨今、今後ますます活動の重要性が見直されるべきだと思う。
- ・われわれの地域は過疎化が進んでいる。子どもたちはこれから将来に向けての環境の変化に順応していかなければならない。早いうちから地域活動の活性化、活動の場を広げていくことが重要だと思う。今まで以上に地域活動が必要になってくると思う。
- ・人と人との関わりを嫌いだとか不要だとか、気にいった人とだけ付き合えば良いと思っている大人があまりにも多すぎる。人とふれあいコミュニケーションのとり方を学ぶ場として地域活動やボランティア活動の大切さを多くの人に理解してもらうことが一番に取り組む事柄だと思う。
- ・集団でとか地域ぐるみで子育てをしようという意識が親の間で低いと思う。親の意識が変わらなないと地域活動・ボランティア活動は生きてこないのではないかと。
- ・親も子ども義務感で動くのではなく、気持ち自然に湧いてこないとは人は集まらず、長続きしないのではないかと。
- ・もっと自分からという意識を持ってみんなが参加できると良いと思う。みんなの力が集まっ

てこそ活動ができるのだと思う。

(2) 祖父母世代について

世代間の考え方の違いが大きすぎる（6件）

- ・異世代交流は賛成だが、お年寄りが「あなたの考え方、やり方は間違っている。こうしないさい。やってあげよう」という態度でこられると辟易する。
- ・世代のギャップを感じる。土地柄もあるかもしれないが、あまりに閉鎖的で、このままこの地区で暮らすには不安。
- ・年配の方が頑張ってくかわってくれるのはありがたいが、今の子どもたちのおかれている環境が昔とは違うことを考慮してやってほしい。
- ・「昔はこうだった」と言われても昔のように今はできないことが多いのに、そう言われてもわからない。

自分の子どもは自分で育てるという思いが強い（2件）

- ・田舎なので子どもを身内以外に預けることへの理解がまだ低いと思う。そのため実家が近くにはない人は子育てを自分で背負って辛い人はたくさんいるのでは。
- ・2人の子どもが子育てサークルにお世話になったが、祖母世代の人は、自分の子どもは自分で育てなければいけないと思っているようだ。

祖父母育て（2件）

- ・一時預かりを頼むと「私たちがいるのに」と怒られ、嫌味を言われ、働きたくても祖父母に預けるのは嫌だから、保育園に入るまで働くのを我慢するというママたちも多い。祖父母の孫育てサークルや教育をしてほしい。講師には子育て中の若い親を呼んでディスカッションして、若いママたちの話を「そういうふう考えているのか」「そういうふうになってしまうのか」と考えてほしい。
- ・地域的なものかもしれないが、いまだに子育ては母親の仕事という考えが強い。祖父母や父親を含めて、今の子育て事情をもっと理解しようとしてくれれば、子育てに対するプレッシャーを少なくできるのでは。

(3) 企業について

仕事優先を改める（4件）

- ・社会が子どもを持つ女性の就職を受け入れるようにすべき。小さな子どもがいる女性は面接で断られることが多い。それは女性が休みが多いためだが、子どもの世話、家事全般を女性がすることが当たり前では、この状況は変わらず、悪くなる一方。
- ・企業が労働時間の短縮に本気で取り組むことを望む。
- ・子育てを楽しんでいるための根本的なことは、父親を家に帰すこと。お金儲けより子育てが大切という意識を持つこと。そういうふうにして社会・企業の仕組みを変えていくこと。たとえ夜遅くまで子どもを預ってもらえても、児童手当をもらえても、女性は子どもを生もうとは思わないと思う。

育児制度の理解を（3件）

- ・学校の参観さえ仕事が終わらずに行けない。企業はもっと子育てに対し理解すべき。
- ・母子保健法が改正されても、現状、会社側は無知で、実現するまで大変な労力がある。

地域活動への理解を（3件）

- ・子育ての地域活動に参加するには、休みが取れるなど職場で理解してもらえるといい。
- ・地域企業のボランティア意識の低さ（理解のなさ）が仕事を持つもののボランティア活動の幅を狭くしている。

(4)地域活動について

やりたい人がやればいい（3件）

- ・ボランティアはやりたい人がやればいい。
- ・子育ての協力、ボランティア活動といろいろ言われると、働いている自分としては、今家族のために働くのが一番だと思っているので、イヤになる。

押し付けない（7件）

- ・余り押し付けがましくしないでほしい。
- ・おしつけやダメ出し（きっと好意でやってくれているとは思う）をされると、行きたくなくなるかも。
- ・講演会・研修など、動員をかけてやっと集まってもらうのでは、主催者側の一方的な押し付け。
- ・“手助けしたい”という人を思いやる気持ち・善意は必要であるが、一方的な救済活動にならぬよう双方向性を大切にしてほしい。
- ・ボランティアに関わる人が自分の考えを押しつけないように気をつけなければならないと思う。

支援しすぎではダメ（11件）

- ・子育て支援については、働きやすい環境を整えてもらいたいと思っているが、基本は家庭。ちゃんと自分の子どもを見つめ、育てていく気持ちを持って子育てしなければと思う。
- ・子育て支援は大切だが、親の心が子どもから離れないように。支援してくれるところに任せれば子どもは育つという考えをもたれないように。
- ・子育て支援の名の下に様々な取り組みがなされているが、“サービス”になっていないだろうか。必要以上の“サービス”は子どもにどのような影響を及ぼすのか心配。
- ・至れり尽くせりのボランティアでは相手のためにならないのではないかと。子育て支援と手助けの違いはどうか悩むところである。
- ・子育てにかかわらず、便利な世の中である。少くくらい不自由な方がよいと思う。

地域活動の必要性を感じない（13件）

- ・本当に活動を求めているのは3歳くらいの子どもの持つ親までではないか？ そのうち友だちも増え、幼稚園、小学校などで情報交換できるようになるので、あまり地域活動の必要性を感じない。
- ・個人的なことに干渉される度合いが高くなりそう。それなら無理をしてまで地域活動に参加するメリットがあるのか？ 保育園の信頼できる先生方と活動するだけで十分。
- ・休日に家族でゆっくりしたいときにボランティア活動というのには疑問を感じる。本来のボランティア活動の意味を何らかの形で考えられる場があればいいと思う。

信頼できる団体であるか（10件）

- ・ボランティアとしてどこまで仕事に責任が持てるのかいつも心配している。
- ・子どもを持っていると、いろいろな人から声をかけられるが、本当に信頼できる団体なのか悩む。もっと情報がきちんと伝わるようにしてほしい。
- ・以前広報に載っていたキャンプに申し込んだが、どういう団体なのか不安に感じ取りやめた。

ことがある。どういう団体なのか、保険や安全性は大丈夫かなど明確に表現できる情報を載せてほしい。

- ・「本当に信頼できる」という存在に感じられるものだと思うが、今の世の中の状況から安心感を持っていないのが本心。行政サイドの大きな力も必要だと思う。
- ・子育て支援を受ける側として、子どもの安全を重視しているので、ボランティアの方々がどんな方なのか分からないと不安。

(5)その他

子育てに関心を持ってほしい(5件)

- ・関心のある人、ない人の差が大きいと思う。より多くの人の子育てに関心を持てるように工夫していく必要を感じる。

子育ては地域全体で(60件)

- ・地域全体で子育てできる町になったらいい。
- ・子育ては家庭だけでなく地域ぐるみでやらなければ。そのためにも、人と人との交わりができる場づくりが必要。
- ・特定の人が活動するだけでなく、普段から見ても見ぬふりをするのではなく、条件が許す範囲でいるんな人が声を掛け合って、地域を盛り上げられるようになればよいと思う。
- ・他人事と思わず、大人が注意したり声をかけたりすることが重要。それが事故を未然に防ぎ、自分の子どもだけでなく、地域での子育て活動になるのでは。
- ・ボランティアという言葉にとらわれず、もっと身近な日常生活での助け合い、支え合いが一番大切。地域の方々の温かい目が本当に子育て中の母親たちが一番求めていること。一人一人が身近に感じていける社会を。
- ・地域の方々と一緒に、いろいろなことを感じ楽しんでいける活動の場があれば、大人も子どもも幸せに過ごしていけるのではないかな。
- ・地域で子どもを育てる・守る・他人と関わるという意味でも、何か交流できる機会があるといいと思う。
- ・周りに子どもがいないが、近所の方々がとても親切にしてくれ、いつも子どもに話しかけてくれるので嬉しく思っている。子ども同士の触れ合いも大切だが、いろいろな方とも触れ合うことが子どもにとって大きく影響していると思う。
- ・身近に生活する上で、自分の子ども以外の知らない子どもたちであっても声をかけ、良いことは褒めて、悪いことは叱ってあげるよう、自分の周りでできることもある。
- ・誰かが困っているときに隣近所が自然に助けてくれる。これがボランティアの原点かなと思う。
- ・近所の皆様が何気なく子どもたちに目配りをしてくれるということだけでも、とても心強く安心だということ、子どもを持って初めて実感した。

子どもの手本となるように(8件)

- ・子育て以前に、周囲の大人たちがまともな人間として当たり前存在として子どもの前に立てることが一番の子育てではないかな。
- ・ともかくどんなに立派なことを教えても、普段の大人がマナー、ルールを守っていなくては子どもが納得できない。
- ・挨拶のできる子になればいいなと思う。そのためにも私自身も子どものいいお手本でいられるよう努力していきたい。
- ・親が一生懸命であれば、子どもはその背中を見てくれると思う。親が背中を見せるのは子ども

ものため。

- ・子どもの最近の問題は大人中心社会が作っていると思われる。まずはそこから改善しなくてはならない。子どものことを考えない社会に未来はない。

地域活動をすることで社会的評価が得られるように（2件）

- ・ボランティア・支援活動の結果、ステータスを得られるようなブランドづくりが必要。
- ・無償で当たり前という風潮だが、時間・労力・持ち出しの交通費に通信費もかかる場合もあるので、ボランティアをしている人を評価したり、優遇するシステムがあるとうれしい。

4 要望

(1)行政に対して

施策を身近に感じない（5件）

- ・子育て支援に遅れすぎている。もっと市民の意見に耳を傾けること！
- ・行政がもっと重要事項として考えるべき!!
- ・“少子化、少子化”と叫ばれているが、行政として何を支援してくれているのかさっぱりわからないのが子どもを持つ親の実感。
- ・低く不安定な収入、社会保障の低下、税負担の増加など子育てをしにくくしている国の施策が少子化を招いている。昔は行政・地域・親が三位一体で子どもたちを育てていたのに、今の行政は子育てに冷たすぎる。

サークル・教室への支援（26件）

- ・子育てサークルをつくっていたとき、運営が大変なときに行政の助けがほしいと思った。ボランティアも頑張る気持ちになるよう行政のバックアップがほしい。
- ・場所の確保など個人では難しいので、行政の協力が必要。
- ・行政の子育て支援の企画は「上から下へ」で利用しにくい。それよりも自主的なサークルのほうが横の広がりもあり、発展する。そういう小さなサークルに行政が施設や資金面で援助してくれると助かる。
- ・活動しているサークルは親子ともに月々の月謝がかかり、イベントの時には別途費用がかかる。皆、無償で活動しているが、行政からの支援がないと活動に幅がなくなり、魅力的な活動が行えない。
- ・地域親子クラブは資金が少なく、子どもだけの参加が困難なため、働いている親たちの子どもが参加ができない。活動がぎりぎり。何とか存続させたい。
- ・“子どもの居場所づくり”が声高に言われているわりには、行政の支援もほとんどない。職場でも理解が得にくいのが現状。スローガンを掲げるだけでなく、ボランティアの支援やPRもしっかりしてほしい。

育児手当の拡充（9件）

- ・教育費など育てていくためのお金がかかりすぎると実感している。
- ・保育園や一時預かりなどが増え、女性が社会に出やすくなっているが、本来幼児は母親いることが自然で安心の源であると思う。働かなくても安心して家計が充実させられるくらいの十分な育児補助金などを導入していただきたい。

保育所の充実（量と質）（25件）

- ・公立幼稚園を3年保育にしてほしい。
- ・現在の日本の経済状態では共働きが必要なので、保育施設の充実が少子化対策に有効。

- ・幼稚園や保育園での定期的な広場の回数をもっと増やしてほしい。
- ・保育園の数が足りず、待機児童が数多くいる。保育園も定員オーバーで十分な保育がされているか心配。上の子の保育園は車でしか送迎できず、下の子も入れるとなった時に別の園になってしまっただけでは毎日の送迎が困難。安心して預けられる保育園の増設を切に希望する。
- ・「待機児童ゼロ！」と言って、子どもの人数を増やし、先生方に負担がしわ寄せされる行政のやり方にとっても不安を感じる。

保育料の引き下げ（17件）

- ・子どもを預けて働きたいが、保育料が高くて働いても意味がない。
- ・児童手当を小学3年生までにするより、保育料や学費等をもっと安くしてほしい。
- ・共働きのため保育所に預けているが、保育料が高くて預けられなくなってきた。もう少し安くしてもらえたら少子化もなくなっていくのではないか。
- ・働くお母さんや子育て中のお母さんが安い料金で利用できるように、認可保育園だけでなく無認可保育園にも国や市の補助金があればいいと思う。

小児科医を増やす（4件）

- ・小児科医が減っている状態で、それなりの対応ができる施設をつくってほしい。

夜間・休日診療の充実（8件）

- ・急な子どもの疾病に対応できる病院の所在等の情報があまり得られない。
- ・夜間・休日診療が減っていることが不安。
- ・夜間救急の場所が遠すぎる。地区ごとにほしい。
- ・現在住んでいる地域には病児保育の施設がほとんどない。24時間体制の小児科の充実など、子育て真最中の者にとっては現実的な対応がほしい。

医療費補助（6件）

- ・他市では小学校入学まで子どもの医療費が無料と聞いたが、自分のところは1歳未満だけ。不公平。
- ・医療費の申請など、とても手間がかかり面倒。地域によっては病院に行ってもほとんどお金を支払わずにすむところもある。あとで返金されるとはいえ、かなりお金がかかる。何とかしてほしい。

病児保育の充実（19件）

- ・仕事をしながら一番辛いのは子どもが病気になったとき。何日も休めず、本当に辛い。安心して仕事ができるように。
- ・保育園などの子どもが病気をしたときに預かってくれる施設がほしい。
- ・働く母として子どもが発熱や風邪に伴う体調不良の際、安心して預けられるような医師と提携している支援の場があるととても助かる。

公共施設等での一時預かり（4件）

- ・小学校には放課後など、急な預かりがないので、一時預かりができる信用のおける所があったらいい。
- ・公民館の講座に参加したいと思うが、子どもがいるので諦めている。その時間だけ預かってもらえると助かるのに。

子ども会を見直す（8件）

- ・役員を半強制的に引き受けさせられるのが残念。そのことに不安を抱いている保護者が多い。子どもたちの成長を温かい目で見守るためにも子ども会のあり方を再検討する必要がある。
- ・子ども会などは少子化によって活動や内容も変化しているため、やめる子どもも多く、魅力がなくなっている。
- ・子ども会の加入が少ない。せっかくの活動なのに同じ町内ですべての子が入っていない子が多く、学校行事と子ども会活動のずれを感じる。未加入は子どもの意思というより、親のエゴであるような気がする。
- ・子ども会の組織が子にとってプラスにならない。
- ・子ども会活動をもっと誰にでも分かりやすく、身近に感じて参加できるように、広報や情報提供にも力を入れてほしい。

児童館等の充実（33件）

- ・児童館を拠点とした地域活動をさらに充実させてほしい。
- ・土日もやっている児童館があるといいと思う。
- ・児童館が地域にないのであったら良いと思う。
- ・図書館や空いている行政施設を使って無料で色々なイベントをやってほしい。
- ・緊急時の一時預かりや放課後・長期休暇時の児童館の充実を強く望む。
- ・子どもが自由に行き来できる児童館みたいな所があると良い。時間に自由のあるお年寄りなども好きなときに行って交流できる場所があると良い。
- ・子育てサークルの活動する場所が不足しているので、公民館も対応を前向きに考えてほしい。
- ・子ども向けの公民館講座をどんどん増やしてほしい。土日の講座や、夏休みのキャンプ・合宿などたくさん体験させてほしい。

遊び場・公園の充実（31件）

- ・未就園児と親が利用する場が児童館になることが多く、児童館の負担が多すぎる。もっと独立した遊び場を各地域に整備してほしい。
- ・近くに遊具が充実して子どもがのびのび遊べる公園がない。
- ・ポケットパークなど無駄な公園を作らず、子どもが遊びやすい場所を親の意見を取り入れて作るべき。
- ・サークルで外遊びを考えると、近くにいい公園がない。公園はたくさんあるが、トイレがなかったり、夏は草ぼうぼうだったり、日陰がなくお弁当が食べられなかったり。少人数ならいいが、大勢だと困る。
- ・幼稚園が終わってからの遊び場がない。幼稚園・小学校の校庭など開放してはどうか（もちろん親の責任で）。週に1回高校生や大学生のお兄さんお姉さんが遊んでくれるとか。
- ・乳幼児を連れての休憩場所がほしい。
- ・雨が降っても遊べる場所が近くにあるといいと思う。
- ・近所付き合いがあまりなく、子ども同士が気軽に遊べる場所（公民館）や公園などが近くにあるといいと思う。
- ・田舎でも公園を増やしてほしい。公園があれば子育て中の人との交流もできると思う。

公共施設の利用料の見直し（2件）

- ・公民館等を利用する団体・グループ・理由などにより無料にしてほしい。
- ・サークルの話し合い（会議）をゆっくりできる場所がないし、会議室はお金がかかる。

地域格差の是正（15件）

- ・学童保育の対象年齢が、予算が厳しいとのことで地域格差が生じている。不要な予算を削って20年後の将来を担う子どもたちに投資すべき。
- ・人口が多い市のほうが充実して、引っ越したときのギャップが大きいので、どうしても暮らしやすいところに人口が集中している。田舎でも子育てしやすくなると、人口増加にもつながるのでは？
- ・夫の転勤を重ねるうちに、地域によって子育て支援に格差がある現実に戸惑った覚えがある。
- ・住所が区境なので、どうしても充実している方の施設を利用する。地域格差が歴然としていくことにいつも驚く。特に公園で見かけた保健所職員の子どもへの対応について質の違いが現れていた。

対応を親切に・融通をきかせて（12件）

- ・相談しに行く場や人の対応をもう少し温かくしてほしい。上からものを言われているようで気分が沈みがちになってしまう。
- ・役場の保育に対する考え方が気に入らない。もう少しましな人材を保育教育にあててもらわないと、親として教育費を出す立場として納得いかないときが多々ある。
- ・学童保育（児童館・係員）の形だけはあり、時々利用させてもらっているが、親切さや熱意が感じられない。指導者の資質に問題がある。子育て支援活動があればありがたいが、指導者をしっかり育ててほしい。
- ・乳幼児の健康診査のときに色々指導していただくが、毎回母親として傷つくことばかりだった。もう少し時間の余裕を持って、流れ作業的にならずに、デリケートに扱ってほしい。

子育てと仕事が両立できるように（4件）

- ・子育てと仕事を両立させられる環境づくりを国レベルで考えていくべき。
- ・将来的に共働きの予定なので、安心して働けるような施策が進むように願っている。
- ・保育園、一時預かりをもっと充実させて。保育園には働いていないと入園が難しく、職安や働き口は預け先が決まってないと受け付けてもらえない。これでは少子化になるのは当然だと思う。

(2)企業に対して

育児休暇の導入・拡充（7件）

- ・育児休暇を長く伸ばすことがどの企業にも普及してほしい。
- ・民間企業にも浸透させて義務化してほしい。
- ・フランスは育児休暇が3年あると聞く。3年とは言わないが、民間でももう少し誰もが気楽に育休を取れるように。
- ・男性の育児休暇が非常に取りにくい。
- ・子育て中のお母さんに地域や職場の応援があると良いと思う。職場で時間的な配慮があったり、育児休暇明けでも堂々と戻れるような応援があると良いと思う。

看護休暇の導入・拡充（2件）

- ・子どもが急病のときに看護休暇を取りやすくしてほしい。

一時預かり（2件）

- ・突発的な事態が起こったときに一番困る。子連れ出勤が認められればと思ったことがしばしばある。企業内にそういうスペースがあれば男性の子連れ出勤も可能になり、子育ては両性

で行うという社会的認知の礎にもなると思う。

- ・映画館やコンサート会場に一時預かりがあるといい。

子育てと仕事が両立できるように（11件）

- ・中小企業の多くは父親が育児にかかわることに対して理解はしても支援する余裕はない。父親が子育てにかかわることが義務ということが社会的に認知されないと。
- ・男性として家族を守る安定した生活を送らせる責任があるため、仕事中心の生活に重きをおき、子どものことは妻に頼らないとやっていけない日本の社会の現実を変えないと…。
- ・親中心ではなく、子ども中心であってほしい。子どもの居場所づくりより、親の仕事の軽減に動いてほしい。子どもは親と一緒にいることをより望んでいる。
- ・自分勝手かもしれないが、子どもが急な病気をしたときなどに預かってくれるサービスよりも、職場での対応を変えてもらえたらいいと思う。子どもを気かけながら仕事をするよりも、仕事を休んでも子どもについていてあげたい。できることなら安心して休みたいが本音。

(3)地域活動に対して

能力・専門性の向上（6件）

- ・ボランティアの適正能力や専門性が充実すれば、もっと参加しやすくなる。
- ・市の保育サポーターとして登録している。託児スタッフとして呼ばれて行くのだが、勉強会などはなく、「経験を生かして」というだけ。頻繁にあっては困るが、ある程度の勉強は必要なのではと思う。
- ・里山体験・農業体験などのリーダーになって子どもを導いてくれる方の育成も必要。

専門家の活用を（4件）

- ・様々な会やグループがあるが周知されていないし、バラバラ。トータルにプロデュースする専門家がいたら魅力的になりそう。
- ・育児のプロがリーダーとなって、毎回子育ての勉強やアドバイスをしていただけて、ルール作りがしっかりとされている教室があったら、有償でも就園前に参加したかった。

半強制的な参加を求めない（17件）

- ・ボランティア活動はみんなができるものではない。強制的なものはボランティアとはいえない。
- ・参加を強要され、小さい子ども連れでの参加がかなり負担。
- ・仕事を持っている人には家庭と仕事の両立がやっとなで、強制的な参加は時代の流れに逆行している。
- ・子どもが興味があって参加するなら良いが、強制で当たり前のように参加するのは好まない。
- ・時間に融通が利くということで断りきれず参加したが、日常の生活に負担を強いることとなっている。
- ・児童委員に誘われて子育てサークルに参加したとき、子どもが小さすぎたこともあり、次から行かなかつたら、しつこく参加しない理由を聞かれた。一度参加しただけで強制的に参加を迫られると、余計に行かなくなる。支援する側が頑張っているのは分かるが、こちらの都合も考えてほしい。

子どもの自主性を尊重する（9件）

- ・全て親からのお膳立てで子どもに提供する内容に疑問を感じている。

- ・子どものことを考え、事故のないようにと、あまりに「あれはしてはいけない、危ない」と規則がありすぎるところがある。全部が自由だと子どももやりたい放題になるので、ある程度の規則は必要だが、ありすぎるのはどうか。
- ・大人が準備して子どもに楽しんでもらう仕組みより、子どもたちで集まって活動するのを大人がサポートするほうが望ましい。
- ・大人が考えた押し付けで子どもの自主性がない。子どもが主でなくなっている活動が多い。
- ・子どものためと言うならば、子どもに考えさせて、親・大人に相談してくるような状態にするべきだ。大人は子どもを干渉せずに見守ることが大切だ。

子どもとの接し方を丁寧に（2件）

- ・子どもに話しかけるときなど、同じ目線で話しかけてほしい。

身近な場所でやってほしい（27件）

- ・保育所単位での活動を考えてほしい。
- ・「わざわざ遠くまで」では長続きしないので、近い場所で活動できることが大切。
- ・市町村合併すると、こちらの方まで行き届くか心配。遠くなると、参加しにくくなるので困る。
- ・自宅のそばにあると、利用が多くなると思う。

魅力ある企画を（34件）

- ・一生懸命取り組んでいるのに参加者が少ないのは、「行ってみよう」と思わせる魅力が足りないのでは？
- ・子育てサークルに参加して子どもも自分もよい体験になっているが、マンネリ化もしてきているので、もっと幅広い交流ができないかと考えている。
- ・ただイベントをやればよいというのではなく、小さい頃からの育成を踏まえた真の活動がされるべき。
- ・同じような活動をローテーションしていてワンパターン化している。新鮮な魅力ある活動を期待している。

地域格差をなくす（9件）

- ・都市部に住んでいるので情報も活動も比較的充実していると思うが、地方や郊外に住んでいて参加したくても活動自体がないところが多いのでは？
- ・以前に比べて充実してきたとは思いますが、過疎地でも広がればいい。
- ・農村地帯だから緊急性も少ないと思われるからなのか、学童保育もなく、延長保育も地域的偏りがあり、不平等で問題が多い。この地域では、エンゼルプラン後の国の施策が十分に理解され、実行に移されるとは思えない。

対応を親切に・融通をきかせて（3件）

- ・活動に参加した時受付の人の対応が親に批判的な態度だったことがあり、その後利用しにくくなった。
- ・遊びのひろばに行ったら、ボランティアの子どもや顔見知りの子どもの優先されて、なににもできなかった。
- ・子ども会では、人数が少ないこともあるが、体調や都合に関係なく係を割り当てられる。自分の子どもが具合が悪くてもプールの監視に行かなければならなかった。

親のニーズを的確に把握する（9件）

- ・日ごろどういふことで苦労しているとか、意見を聞いて、できるだけそれを解決していけるように考えて活動してほしい。
- ・子育て支援の活動をしてもらえるのは喜ばしく意義深いが、現状は子どもや親のニーズとは少しズレがあるように思う。

問題を一人で抱えている人にもっと踏み込むべき（7件）

- ・一人で悩んでいる人も多い。そういう人を見つけて積極的にかかわっていくことが大切。行政や地域から個人へと足を踏み入れないと子育てで悩んでいる人は見つけられない。
- ・悩み苦しんでいる人は活動には参加しないだろう。そういう人をどのように参加させるかが重要。
- ・長男が生まれたときに助産婦さんが里帰りしていた実家に来てくれたり、いろいろと話が聞けてうれしかった。同じように誕生日を迎えるたびに、カウンセラーまたは地域の方が「子育て大丈夫？」と訪ねていく制度があると良いと思う。

子育て支援は有資格者でないと不安（2件）

- ・指導者（有資格者）が必要。きちんとしたスケジュールのもと、目標に向かって活動すべき。単なる子守程度では意味がないのでは？
- ・一時預かりなどでは保育士の免許を持っていない人では安心できない。

行政や各種団体等と協力する（23件）

- ・育児に関する事業が多くなってきたように思うが、各団体とも横の連携を取り、事業を展開するとよい。
- ・学校・行政・地域がつながらなければうまくいかないと思うが、現状は個々の活動で連携が取れていない。ボランティアの方もまだまだ活用されていない。
- ・横のつながりがまったくない。縦割りの活動では少子化に対応しきれない。
- ・各団体のつながりができると、子どもの参加も増えるのでは。
- ・行事日程を決める際に関係団体の連携がないと困る。
- ・広報紙の発送、行事の計画、行事への参加募集など協力し合えばいいと思う。
- ・もっと互いの活動団体で情報交換をしあって、無駄のない活動をしたらいいと思う。
- ・地域に根ざしたボランティア等は、保育園や幼稚園、小中学校、教育委員会の社会事業等もっと連携することで、自治体等の保安や保全、地域の活性につながると思う。
- ・地域のネットワークが充実していれば、最近の恐ろしい事件なども減るように思う。

地域活動に参加してよかった（44件）

- ・子どものために少しでも地域にかかわってほしいと、苦手な近所づきあいを頑張ってしているうちに、顔見知りも増え、今は楽しい近所づきあいになりつつある。やらなくてもすむ地域活動だが、あえてやることに意義があると思う。
- ・参加してみんなによくしてもらって子どもも喜んでいる。自分も気分転換ができ楽しんでいる。多くの人に参加することでお互いのことを知る機会になるので、活動がもっと広がればいい。
- ・子どもを生んでから町の催しに参加するようにしている。最初は勇気がいったが、そこで知り合った人との付き合いが生まれ、行ってよかった。
- ・地域の集まりに参加して、同じ年頃の子どもを持ったお母さんたちと友だちになることができた。何かのきっかけがないと会えない人も多く、私にとってはとても楽しい時間だった。

今春から保育園に入り、参加のきっかけが無くなり残念。

- ・私自身、地域活動に参加していてもなかなか親しい友だちはできないが、家とは違う別の楽しさがあってとても楽しみにしている。
- ・子育てサークル等は他の方たちとの会話により育児の不安も解消でき、近所に知り合いが増えてほっとできる。

感謝している（35件）

- ・何度か利用させてもらって、とても行き届いていてよかった。活動している人はすごく大変だと思うが、これからもぜひ続けてほしい。
- ・愛情を持って託児してくれて助かっている。
- ・これがなければわが家はまったくどうしていいかわからない状態だったので、本当にありがたく思っている。
- ・子どもたちのために若い方から年配の方まで支援してくれて、親としてありがたいと思っている。

(4)その他

子育てと仕事が両立できるように（17件）

- ・今の制度のままではもう一人生もうとは思わない。理由は仕事と育児、家事の両立に自信がないから。
- ・一番不安なのは子育てと仕事の両立。同じ悩みを分かち合える人たちとの交流はないものかと感じている。
- ・まだまだ子育てしやすい環境ではない。仕事をしていると特に感じる。
- ・子育てにはやはりお金が必要で、そのために妻が働こうとしても、時間や子どもの病気のことなどを考えると働けない。

2. 保育・教育関係者の自由回答

保育・教育関係者からの自由意見としては、保育所・幼稚園・小学校等に通う子どもとその親について気になることについて回答してもらった。主な意見は次の通り。なお、カッコ内の件数は延べ件数である。

1 子どもについて気になること

(1)親子関係(22件)

- ・親に対する依頼心が強い。(3件)
- ・お迎えにきてもほとんど会話のない親子が気になる。
- ・親の話しかけに関心を示さない子がいる。
- ・お迎えの母親がきても、見て見ぬふりをして遊びを続けている。
- ・親のお迎えを喜ばない。
- ・親子関係というよりも友だち関係になっている家庭もある。
- ・親と力の線引きが昔に比べはっきりしない。
- ・親に受け入れられている子どもは落ち着いていると思う。
- ・親に対して良い子であろうとする子が増えて気になる。
- ・親に対して言葉遣いが悪く、キックする子もいる。
- ・親に対し無関心。
- ・親に命令する子がいる。
- ・親によい子を表現しようとするため、本音が出しにくくなっているのではないかと思う。
- ・親のいうことに反応しない子どもが増えた。
- ・親の押しつけで、子どもの自主性が損なわれている。
- ・親の関心が集中している子どもと、世話されていない子どもの差が大きい。
- ・親への信頼感が少ない。
- ・子どもは親の顔色をみて行動している。親の考え方が子どもを支配している。
- ・親の機嫌を見て行動する。
- ・親への言葉遣いが乱れている。

(2)親子のふれあい(4件)

- ・親子でふれあう時間が少ない子どもが多く、まとわりつく子が多い。
- ・親子の会話がない子が気になる。よく会話をする時間をもつようにしてほしい。
- ・子どもが十分家庭で甘えを受け止めてもらえていない。
- ・母親に身体を触られたり、抱かれたりするのを嫌がる。

(3)親離れできない(1件)

- ・母子離れができていない子が増えていると思う。

(4)親が居なくても平気(1件)

- ・お母さんがいなくても平気ということが問題だと思う。

(5)過保護(4件)

- ・過保護が多い。
- ・過保護で依頼心が強い。親離れできない。
- ・過保護になっているので、心の弱い子が多い。
- ・過保護のせいか、自己中心的、わがまま。

(6)アレルギー (3 件)

- ・アレルギーが多い。(2 件)
- ・アレルギーが増え、除去食が必要な子が増えている。

(7)遊びが少ない (6 件)

- ・室内遊びが多い。自然の中で集団で遊ぶ機会が少なくなっている。(2 件)
- ・遊びの種類が少ない。
- ・遊ぶ機会が少なくなっている。
- ・与えられることになれ、積極的に求める姿勢に欠ける。
- ・歩くこと、身体を使って遊ぶことが少ない。

(8)運動能力・体力の低下 (5 件)

- ・すぐに疲れたと弱音を吐く子がいる。(4 件)
- ・運動能力が低下している。

(9)体が弱い (2 件)

- ・同じ子どもが何回も入退院を繰り返している。
- ・体調良好児が少ない。

(10)発達の差が大きい (6 件)

- ・発達の遅れが気になる子が目立つ。(4 件)
- ・個々の発達の個人差が大きくなっている。
- ・発達段階に応じた自立心、社会性が育っていない。

(11)言葉の遅れ (2 件)

- ・言葉の獲得が遅い。(2 件)

(12)しつけ (12 件)

- ・家庭でしっかり指導、しつけを受けていない子がいる。(6 件)
- ・箸の持ち方がわからない。(2 件)
- ・排泄行為がしっかり身についていない子どもが見受けられるようになってきた。
- ・履き物をそろえることができない。
- ・善悪のしつけがされていない。
- ・おむつがとれない。

(13)モラルの欠如 (4 件)

- ・社会性の欠如。(2 件)
- ・社会規範、モラルの欠如が気になる。
- ・地域の中で活動している子どものマナーが悪い。大人に注意されても聞かない。

(14)言葉遣いが悪い (8 件)

- ・言葉遣いの悪いことが気になる。(3 件)
- ・親と先生の区別がつかない。先生も呼び捨て。
- ・言葉遣いが乱暴。テレビの言葉の影響か。
- ・子どもに素直さがなく、保育士に対して言葉遣いが悪い。

- ・少数ではあるが、父親を呼び捨てにする子が出てきた。
- ・友だち親子が多く、大人に対する言葉遣いが乱暴になってきた。

(15)親が居る時、居ない時で態度が変わる(6件)

- ・親の前では良い子だが、いないところではわがまま。(5件)
- ・親が迎えにくると、今までと全く違う表情、態度になる子がいる。

(16)協調性がない(4件)

- ・協調性がなく、我慢することを知らない。(3件)
- ・家族の一員としての自覚が少なくなっているように感じる。自分の好きなことは熱中するが、家族が協力して何か行うときは親の後をついているだけである。

(17)話を聞けない、聞かない(22件)

- ・話がきけない。集中力に欠ける。(15件)
- ・話をするとき、目を見て話せない子が多い。(2件)
- ・注意を聞き流す。
- ・話を聞いて理解することが容易ではない。
- ・話を聞く、考えるという落ち着きが身に付いていない。
- ・人からの注意を素直に聞くことができない。ごめんなさい、ありがとうが言えない。
- ・人との接し方がわからない子が多い。

(18)テレビ、ビデオ、ゲーム(7件)

- ・テレビ、ゲームの時間が長い。
- ・テレビ、ビデオに子守をさせている例が多いせいか、入園児に、顔や目を見ない子が多い。
- ・テレビが好きで、テレビの話が多い。外遊びに慣れるのに時間がかかる。
- ・テレビの影響か、アクションの加減がわからない子がいる。
- ・テレビやゲームの内容が、子どもの心の中にどんどん染みこんでいる。
- ・テレビを見たがる。
- ・ビデオ、ゲームに固執する傾向がある。

(19)甘え(4件)

- ・4、5歳になっても甘えたがる。(2件)
- ・甘え、依存心が強い。
- ・甘やかされている面が多く、本当に心の安らぐ場がない。

(20)親以外に甘えを求める(7件)

- ・教師に甘えてくる子が増えた。(3件)
- ・甘えが満たされていないので、保育所で甘えを認めてもらっている。
- ・だっこ、おんぶを親ではなく、保育者に求める傾向がある。
- ・保育士から離れない、独占欲が強い。不安定なお子さんがある。家庭内の見えない部分があり、把握できない部分が気になる。
- ・自分の親よりも職員になつく子どもがいる。

(21)意欲がない(6件)

- ・いやだと思ふことはやらなくてもよいという気持ちが強い。(2件)

- ・意欲的に活動する姿が見られない。誰かが決めてくれば、その通りにやるからという感じの子が多い気がする。(2件)
- ・学ぶ意欲がなく、簡単に欠席する。
- ・目標に向かって頑張る力が弱いように思う。

(22) **表現が苦手** (5件)

- ・自分の気持ちを言葉で表現できない。(4件)
- ・絵がかけない、表現の乏しい子が多くなった気がする。

(23) **落ち着きがない** (23件)

- ・落ち着きがない。(11件)
- ・他人の話をきちんと聞くことができない。(7件)
- ・椅子にきちんと座れない子も多い。(2件)
- ・以前に比べ集中力がなく、じっとしていることができない。
- ・落ち着いて学習に向かうことができない児童がいる。
- ・落ち着いて聞いたり見たりできない子が増えている。

(24) **我慢できない** (23件)

- ・我慢ができない。(13件)
- ・我慢、じっくり考えることが苦手な子が多い。(2件)
- ・我慢、待つことができなくなっている。
- ・我慢ができず、すぐけんかになる。(3件)
- ・我慢ができず、我が儘。
- ・我慢することができない。すぐにパニックになる。
- ・我慢することを覚える場面が少ない。
- ・我慢強さ、根気、集中力がもう少しあればと思う。

(25) **耐性の欠如** (2件)

- ・耐性が弱く、ちょっとしたことで傷つく子が多い。(2件)

(26) **根気がない** (3件)

- ・根気がない。(2件)
- ・困難なことに挑戦しようとしなない。

(27) **感情がコントロールできない、情緒不安定** (22件)

- ・切れる子、我慢できない子が増えている。(7件)
- ・自己コントロールできない子が多い。(4件)
- ・自分の感情を抑えることができない。おこりやすい。(4件)
- ・心が満たされず、情緒的に不安定。(2件)
- ・思い通りにならないと、大人や周囲の子どもに八つ当たりをするなど、感情のコントロールができない子が増えている。
- ・おもちゃを理由なく投げたりする。
- ・親が自分の言いなりになってくれないと不安定になる。
- ・ささいなことで突然けんかになる。
- ・長時間保育の中で、朝早く登園する子も多く、朝食なしで登園、午前中、活動に乗れない夜型、

イライラ、甘えなど、情緒不安定な子が多くなった。

(28)暴力的(7件)

- ・友だちと話しあいができず、暴力的な児童が増えている。(4件)
- ・思い通りにいかないと、手がでてしまう。
- ・他児に対して手や足が出てしまう。
- ・何もしていないのに、突然たたいたり、ついたりする。

(29)現実と架空の区別がつかない(1件)

- ・現実と作り物の世界の区別がつかない。テレビなどの影響か、話が聞けない。

(30)相手の気持ちが分からない(6件)

- ・相手の立場に立って考えることができない。(3件)
- ・高学年になっても、自分の言動が相手にどのように受け取られるか想像できない子が多い。
- ・自分がいやなことは人もいやだということがわからない。
- ・自分の快樂のために周りの人の気持ちや集団行動の大切さを理解せず、自分勝手に行動している。

(31)思いやりがない(1件)

- ・思いやりがない。

(32)心が育っていない(2件)

- ・心の安定感をいかに育てるかが課題。
- ・心の育っていない子どもの存在。

(33)基礎能力の低下(1件)

- ・子どもの基礎能力の格差が大きい。

(34)自己中心的、わがまま(24件)

- ・自己中心的、わがまま。(14件)
- ・自己主張ができるが、相手の意見を受け入れられない子が多い。(4件)
- ・自己中心的な行動など、社会性や基本的生活習慣に欠ける子どもが多い。(2件)
- ・自己中心的で、自分のほしいものは言葉を発しなくてもとる。
- ・自己中心的で他人への思いやりが少ない。
- ・自己抑制がきかず、感情のままに暴力的になり、人や物にあたる。
- ・わがまま、自分でできることも親任せにする。

(35)心的障害(3件)

- ・多動的な子どもが多くなってきた。(2件)
- ・自閉、LD, ADHDなどの子どもが増えている。

(36)集中力がない(9件)

- ・集中できない子が目立つ。(5件)
- ・物事に集中できない。(2件)
- ・集中して話を聞いたり、約束を守ったりすることが苦手な子が多い。

- ・集中して行動できる子が少なくなっている。

(37)精神年齢の低下(1件)

- ・精神年齢が低くなっているのを感じる。

(38)不登校(1件)

- ・友だちの中に入れず、不登校の子どもが気になる。

(39)子どもが少ない(1件)

- ・生徒減少で友人関係がスムーズにいかない。

(40)自分でしない・できない(21件)

- ・指示待ちタイプの子が多い。過保護、過干渉の影響か。(8件)
- ・自分のことを自分でしようと思わない。大人がしてくれていると思っている。(3件)
- ・依頼心が強い。(3件)
- ・親がしてしまうので、自分でできないことが多い。(3件)
- ・基本的なことができない。(2件)
- ・お利口さんが多く見られるが、自発的意志が乏しい、促されないと行動しにくいことが多い。
- ・やや依頼心が強く、自主性、自己表現力の弱さが見られる。

(41)生活習慣(51件)

- ・基本的な生活習慣ができていない。(34件)
- ・親の生活に振り回されて、寝不足、朝食抜きなど、しつけ、基本的な生活習慣が気になる子が多い。(6件)
- ・生活習慣が自立していない。(5件)
- ・生活のリズムが大人のリズムになっている。(3件)
- ・生活習慣が殆ど身につけていない新入園児が多くなっている。
- ・規則正しい生活ができていないので、園での活動に集中できない。
- ・生活習慣の確立を全面的に園に依存している。

(42)食事のマナー(2件)

- ・給食面でのマナーの悪さが目立つ。
- ・食事の姿勢やマナーが悪い。

(43)食事・栄養(17件)

- ・朝食を食べてこない、朝から元気がない、集中力がない。(6件)
- ・食事の好き嫌いが激しい。(3件)
- ・欠食、孤食が増えてきた。(2件)
- ・お弁当が栄養を無視している。指導しても聞き入れない。こうした親は講演会などにこない。
- ・食事よりおやつを食べたがる。
- ・食物をかめない、飲み込めない。
- ・食欲もあまりない。
- ・母親が朝食を抜く家庭で、子どもが欠食のまま登園する。
- ・野菜嫌いが多くなった。

(44)睡眠時間 (21 件)

- ・就寝時間が遅いため寝不足で登園。朝からあくびの子が多い。子ども本来の生き生きとした姿がなく、半日ずれている子が多い。(16 件)
- ・夜型の子どもの増。大人の生活に子どもを巻き込んでいることに問題を感じる。(3 件)
- ・夜型の子どもの増え、睡眠時間が少なく、集中力、持久力に欠ける子どもが多い。(2 件)

(45)長時間預けられている (4 件)

- ・10 時間以上保育所で過ごす子がいる。(2 件)
- ・子育て支援といって長い間保育していくと、それに慣れてしまう。7 時 30 分から 19 時まででは長すぎる。
- ・保育時間が圧倒的に長い子、保育園から託児所へ通う子もいて、心配。

(46)一人の時間が長い (1 件)

- ・一人遊びだけで時間を過ごす子がいるので気になる。

(47)元気がない、疲れている (6 件)

- ・朝から元気がない子が多い。(3 件)
- ・子どもたちが疲れている。
- ・登校時より身体がだるい、機嫌が悪い、眠い子どもが多い。
- ・放課後元気がない子。

(48)子どもの時間がない (4 件)

- ・忙しそう、学校にいる時間が長すぎる。
- ・お稽古ごとが多く、遊ぶ時間が少ない。
- ・子どもの生活が多忙になっている。疲れた表情の子が多い。
- ・塾、習い事が多く感じる。自由に遊んだりする時間が少ない。

(49)集団生活がにがて (12 件)

- ・集団での行動がとりにくい。(5 件)
- ・家に帰ると、ゲームなど友だちと十分関わって遊ぶことが少ない。(3 件)
- ・一対一では素直であるが、集団になると反抗的、挑発的となる。
- ・一斉活動ができない子が増えている。
- ・一対一のかかわりを求めがちである。
- ・集団からはみ出す行動をとる子が多くなった。

(50)大人との対し方 (7 件)

- ・大人と会話したがる。(3 件)
- ・大人と対等の話し方をする子どもが気になる。(2 件)
- ・大人の顔色を見ながら生活している。
- ・大人の生活時間に子どもを合わせている。

(51)病気でも家で休めない (2 件)

- ・熱があっても病気でも連れてくるし、電話してもなかなか来てくれない。
- ・病気でも毎日登所させられる。

(52)虐待 (1 件)

- ・母子家庭や、虐待を受けている子が多くなった。

(53)安全な遊び場がない (1 件)

- ・自由に安全に子どもだけで遊べる場所がない。

(54)人間関係 (2 件)

- ・縦のつながりが少ない。
- ・年下の子どもの面倒をみられない。

(55)挨拶、返事、会話ができない (10 件)

- ・挨拶、返事が元気にできない。(7 件)
- ・呼ばれても返事をしない。(2 件)
- ・相手の顔を見て話しをしない子どもが多い。

(56)子ども同士の関わりが苦手、分からない (12 件)

- ・他児との関わりがうまくできない子が増えた。(5 件)
- ・他人に興味を示さない、保育者とばかり遊ぶ。(2 件)
- ・友だちとコミュニケーションをとれない子が増えている。(3 件)
- ・友だちとの関わりの中で育つ経験が少ない。
- ・一人遊びが目立つ。

(57)その他 (11 件)

- ・安心して落ち着ける体験が不足している。
- ・未満児においてもスキンシップをいやがる。
- ・目線が合わない子が多い。
- ・面倒なこと汚れることを嫌がる。
- ・モノを大切にできない。
- ・夕方になっても家に帰りたがらない子。
- ・一人っ子が多く、自分の思い通りにならないと、泣いたり親をたたいたりする子がいる。
- ・べたべた甘える時と無表情な時が極端な子。
- ・夏休み等、両親が共働きのため、朝から公民館に来ている。一人で留守番ができないのか。
- ・幼いころから結果を重視することが多い。
- ・おしゃぶりが多い。

2 親について気になること

(1)しつけをしない、できない(44件)

- ・ 基本的生活習慣、モラルなどのしつけができていない。(17件)
- ・ 子どもを叱る一貫性がない。(6件)
- ・ 基本的生活習慣の育成を園に任せる傾向がある。(5件)
- ・ 子どもの叱り方がわからない親が多い。(3件)
- ・ 甘やかが多い、子どものいいなり、子育てがあなた任せである。(2件)
- ・ 園の約束事などを家庭で守らせようとする姿勢がない。
- ・ 親としてのしつけをせず、学校にすべてを求める親が増えている。
- ・ 親の押しつけによる身勝手なかわいがり方が見られる。
- ・ 言い聞かせることができない。子どもの言うまま、するまを見ていただけ。
- ・ 家庭のしつけに関心がない親が増えた気がする。
- ・ 基本的生活習慣として、家庭でのしつけを真剣に考えてほしい。
- ・ 子どもに注意することができない親が多くなっている。そんな人に限って何かおきると、クレームがすごい。
- ・ 子どものしつけより仕事を優先している。
- ・ しつけよりも教育のことばかり考えている。
- ・ しっかりとした考え、親の責任に対する意識が薄い。
- ・ 主張は強いが、基本的な習慣に無頓着。

(2)叱らない(14件)

- ・ 叱らない。ケジメをつけさせない。(6件)
- ・ 親はもっと毅然としてものごとの善し悪しを伝えていかなければいけないと思う。(4件)
- ・ 子どもを叱れない。泣かれるのを嫌がる。(2件)
- ・ 子どもの叱り方が分からない。
- ・ しかり方が怖い。

(3)他の子を注意しない(3件)

- ・ 他の子どもを注意したりする親が少ない。(3件)

(4)子どもとのコミュニケーション不足(30件)

- ・ 親子の会話、ふれ合う時間を大切にしてほしい。もっと子どもを見てほしい。(10件)
- ・ 子どもとどう接していいかわからない人が多い。(8件)
- ・ 子どもと愛情関係をうまく結べていない親が気になる。(5件)
- ・ 子どもと時間をかけて接してほしい。(3件)
- ・ 学識のある方は多いが、本当にじっくり子どもと関わっていない方が多いように思う。
- ・ 子どもと関わることを苦痛に感じている親が多い。
- ・ 子どもときちんと話ができない。
- ・ 子どもに対しての言葉や笑顔が乏しい人がいることが気になる。

(5)子どもとのスキンシップの不足(15件)

- ・ 子どもの遊びをみることができない。一緒にかかわらない。(7件)
- ・ スキンシップの少なさが非常に気になる。(4件)
- ・ おんぶしたり、話しかけることが少ないように思う。子どもに対してどのような思いを持っているかわからない。(3件)

- ・甘えさせること、だっこ、おんぶが悪いことだと思っている傾向がある。

(6) **親が成長していない** (18件)

- ・親が親として育っていない。(4件)
- ・親としての自覚がない、未熟な親が目立つ。(4件)
- ・母親の幼児化。子どもと同じレベルで物事をみている。(4件)
- ・子どもに親としての価値観や倫理観を伝え切れていない。(2件)
- ・親が子どもから精神的に自立できない人がかなりいる。(2件)
- ・友人関係の親子。
- ・親が子どもに負けている。

(7) **感情的、神経質** (11件)

- ・子どもが理解できるように話さないで、決めつけて怒っている親が多い。(3件)
- ・感情で育児をしている。(2件)
- ・ちょっとしたことでも気になったり、気にしてほしいことが気に入らなかつたりすることが多い。(2件)
- ・子どものことが気になって神経質になっている。情報が有りすぎるのか。
- ・他人の目を気にして、いつも皆と同じ歩調にあわせていないと心配な様子がある。
- ・ちょっとしたトラブルに過剰に反応してしまう。
- ・どんな小さい傷でも怒鳴ってくる。

(8) **親の心的問題** (5件)

- ・子育てなど一人で抱え込み、うつ病になる親が増えてきている。(2件)
- ・ストレスをうまく発散することができない。(2件)
- ・親のイライラが子どもにそのまま伝わっている。

(9) **責任感がない** (3件)

- ・親としての責任感の低下。(2件)
- ・権利意識は強いが、自分の子についての責任感のない、保護者が増えている。

(10) **ゆとりがない** (3件)

- ・親のペースでまくし立てて、ゆっくり話せない。(2件)
- ・親の気持ちにゆとりがなく、育児が負担になったのではないかと感じる。

(11) **余裕がない** (2件)

- ・子育てに余裕がない。子育てを苦痛に感じる親が多い。
- ・子育てに余裕がない。楽しさを味わえない親がいる。

(12) **子どもに甘い、言いなり** (33件)

- ・子どもの言いなりになっている。叱ることをしない。(22件)
- ・子どもに甘い、子どもの機嫌をとる。(6件)
- ・子どもの意思尊重ということでわがままにもかかわらず、親の毅然とした対応ができず、放任状態。お迎えにきてもなかなか帰ろうとしない。(2件)
- ・親としてどう子どもと向かい合ったらいいのか分からないので、結局子どもにどうしたらいいかを聞いて、その通りにしていることが多い。

- ・全て子どもの要求を満たす。
- ・通園の際、手荷物を親や祖父母が持っている。

(13)子どもに目が行かない(1件)

- ・親が自分の身の回りのことに気が行きすぎて、子どものことは二の次になっている。

(14)子どもに期待が大きい(3件)

- ・親の期待が大きく、子どもの実態をみていない。
- ・子どもにプレッシャーになっているのに気がつかないで、知らない間に親の敷いたレールを押しつけている。
- ・求めることが多い、もっと自分の子どもをしっかり受け止めてほしい。

(15)過干渉、過保護(15件)

- ・過保護、過干渉、子どもの自立を促すことができない。(8件)
- ・過干渉、おおらかに成長を見守る視点が欠けている。(4件)
- ・過保護、過干渉の傾向。(3件)

(16)子どもに無関心(14件)

- ・具合が悪いと伝えても、家ではなんともないといって気にしない親がいる。(4件)
- ・子どもに無関心な親が多い。子どもが心から要求している事に気づかない。(3件)
- ・具合が悪くても園に預ける親が多い。(3件)
- ・自分の子どもを見ているようで見ていない。(2件)
- ・子どものことより、周りや外見ばかり気にする親がいる。
- ・積極的にわが子の心の動きをつかむ心構えが不足している。

(17)過干渉、無関心(13件)

- ・過干渉の親、放任しすぎの親の二極化である。(10件)
- ・過保護か放任で、バランス良く育てている親が少なくなっている。(2件)
- ・自由と放任とは違うと思うが、見守りもせず、すっかり任せっぱなしの親が多い、また、過干渉の親もあり、両極端である。

(18)子どもに体験させない(3件)

- ・家庭でもいろいろなことを体験させてほしい。
- ・教育的なことに目を向けすぎていて、年齢に応じた体験、経験をさせない。
- ・我慢することを経験させない親が多い。

(19)完璧主義(3件)

- ・完璧な子育てをしようがんばりすぎている。
- ・子育てを完璧にやろうと無理している。
- ・子どものためと力が入りすぎている。

(20)子どものペット化(6件)

- ・子どもをペットのように可愛がる。(3件)
- ・子どもが自分のファッションの一部と考えている。髪染め、ピアス。
- ・子どもの私物化。

- ・ペットの存在で、自分の思うようにならないと、叱る親が多い。

(21)自己主張(4件)

- ・権利主張が強く、責任転嫁する人が多い。(2件)
- ・権利ばかり主張し、義務を果たそうとしない。(2件)

(22)自己中心、わがまま(15件)

- ・親に忍耐、辛抱強さがなく、親がわがまま。(5件)
- ・自己中心的な考え方が多くなっている。(4件)
- ・親が自己中心的で、他人とつきあえない。(2件)
- ・「自分だけ、わが子だけがよければ」が多い。(2件)
- ・親の都合で子どもを判断していることが多い。
- ・わがままを通してしまっていることに気がついていない。

(23)大人同士の関係を子どもに影響させる(2件)

- ・親の関係が悪くなると、子どもの関係にヒビをいれる親が毎年のようにいる。
- ・子どものトラブルを親同士のトラブルに発展させてしまう。

(24)相談相手がいない(5件)

- ・子育ての不安を相談できる相手がいない。(3件)
- ・育児相談を希望している親が増えている。
- ・親が、相談相手がおらず、ストレスを抱えている。そのストレスが子どもに影響を与えている。

(25)子育てが分からない、自信がない(16件)

- ・子育てに自信がない親が多くなってきている。(5件)
- ・育児に関する基礎知識が乏しい。(3件)
- ・核家族なので、子育てに不安がある。(2件)
- ・子育てがわからない親が増えてきている。(2件)
- ・参考書通りにいかないと悩む親、うまくいかないと子どもにあたる親。(2件)
- ・泣かれるとおたおたして、保育園にどうすればいいか聞いていく。
- ・教育に自信がない。

(26)自己判断できない(8件)

- ・何を大切に子育てするのか分からない親が増えている。(3件)
- ・トラブルが起きた時の対応の仕方がわからない。(2件)
- ・子育て支援は親に対する支援で、十分すぎると、親の育児能力が育たず、子どもに対する愛情も薄くなってしまいうように感じる。(2件)
- ・親を支える体制づくりが必要と思う。

(27)親の経験不足(2件)

- ・経験不足で不安な親が多い。
- ・高学歴な親が多いが、体験不足のため、親自身も楽なほうを求める傾向がある。

(28)子育てを楽しむ親が少ない(2件)

- ・子育てが楽しいという保護者が少なくなっている。

- ・子育てが楽しくないと言っている。どう育てていいかわからない。

(29)子どもの意見を聞かない、認めない(8件)

- ・子どもの気持ちを受け入れていない。(3件)
- ・子どもの自立心を育てる子育てが出来にくくなっており、がまんしたり励ましたりする育児が薄れているように思う。(2件)
- ・子どもに聞いているのに、親が先に答えてしまう。
- ・自分の思いどおりにできていると思っている。子どもを親に合わせようとしている。
- ・わが子の良いところを見つけられない。ほめてやれない。

(30)他人の意見を聞かない(6件)

- ・人の意見が耳に入らない。(2件)
- ・自分の考えが正しく、他の意見を聞かない。
- ・相談をしても、指導者の話を素直に聞き入れない親もいる。
- ・保育所の話は聞かないが、保育所へは多くを求めてくる。
- ・こんなことは任せてほしいと思うことでも口を出し、反論される。

(31)自分の子どもだけ(16件)

- ・自分の子どもしか目がいっていない、幅広い視野で物事がとらえられない。(7件)
- ・自分の子どもさえ良ければという親が多い。(4件)
- ・自分の子どもに対し、きっちり叱れない親がいる。(2件)
- ・自分の子どもしか信じられない。
- ・自分の子どものためなら、他人を押しつけても主張する保護者がいる。
- ・教育熱心ではあるが、わが子にしか目がいかない親も多い。

(32)父親の役割が少ない(4件)

- ・父親が子どもに対して無関心。
- ・父親の育児参加が少ない。子育ては夫婦の問題であると思う。
- ・父親の役割が少なすぎる。母子密着型。
- ・父親はいるが、存在が感じられない。

(33)喫煙(2件)

- ・母親の喫煙者が多いのが気になる。
- ・母親や家族の喫煙。

(34)非協力的、他人任せ(33件)

- ・子育てに対する前向きさが感じられない。園任せのところも多い。(15件)
- ・親子で参加せず、送迎だけして活動は指導者まかせの親が多い。(5件)
- ・要求はするが協力はしない自分勝手な親が多い。(2件)
- ・園の行事に協力的でなく、自分の都合を言うてくる。
- ・親子で楽しむイベントでも親同士が話していて子どもをみない。
- ・学習やスポーツ活動など全般、他人に任せてしまう例が多い。
- ・学校に頼ることが増え、親が教育していない。
- ・研修会等に参加してもらえない。
- ・公民館に行かせておけば何とかかなと考えているのか、あまりに責任がない。

- ・参観学習への参加が少ない。参加者の中で私語が多く、携帯を利用することもある。
- ・仕事をもつことは問題ではないが、子どもに朝食を作らなかつたり、学校で準備してもらうものに対して依存的であり、学校について関心が薄いところが見られる。
- ・祖父母への依存傾向が感じられる。
- ・祖母が自分の子育てに自信を持ち、母親が、祖母任せになっている。
- ・なんでも保育所にしてほしいという考え方が強い。

(35)他者との交流が少ない、苦手(10件)

- ・親同士の関わりが薄い。(2件)
- ・親同士の交流がうまくできない人が多い。(2件)
- ・親同士密接でないし、社会的通念にとぼしく、どんなことでも園に言ってくる。何でもかんでも、小さなことでも連絡が入る。
- ・決まった人とししか親しくせず、広く関わろうとしない傾向がある。
- ・交友関係が狭い、自分の子どもしか見ていない。
- ・他人との関係を活かすことができない保護者が多くなっている。
- ・他の親とも会話をするという姿がない。
- ・働く親が増え、コミュニケーションが持ちにくい。

(36)地域との交流がない(2件)

- ・地域とのつながりが薄く、親子単位で行動している人が目立つ。
- ・地域に知り合いが少なく、何かあったときに預かる人がいないという親が多い。

(37)きちんと食事をしない、させない(18件)

- ・朝ご飯をお菓子ですませる。
- ・子どもに食事を与えなくても平気な親がいる。
- ・子どもの食事を満足につくれない親もいる、インスタントばかり。
- ・食事の大切さを理解できていない方が増えてきた。
- ・食事をしていない子が多い。
- ・食について関心の低い親、食事をつくらない親がいる。
- ・朝食の必要性を感じていない。朝食を作らない、食べさせない。(3件)
- ・子どもの食事について無頓着。
- ・食事、しつけなど、親が責任を持って子育てをしてほしい。
- ・食事、睡眠など基本的な部分が十分でない。(2件)
- ・朝食を食べない子がいる。(2件)
- ・朝食は必ず食べさせてほしい。
- ・朝食を食べさせずに登園させても気にしない。
- ・手作りの食事を与えない親がいる。

(38)大人中心の生活・行動(37件)

- ・大人中心の生活、子どもの生活リズムを無視している。(20件)
- ・親中心の生活になっている。夜型、外食、テレビの内容や時間。
- ・親の就労条件で子どもの生活リズムに合わせられず、会話、学習準備が十分でない。
- ・親の都合で休園させる。
- ・親の都合や考え方に子どもを合わせている。子どもの気持ちを考える気にならない。
- ・親の都合を優先しすぎではないか。子どもの気持ちをしっかり考えてほしい。

- ・外出する時間が多いので、子どもが疲れている。
- ・子どもを大人の都合で動かし、生活習慣を身につけさせようとししない。
- ・休日ゆったりせず、でかけて疲れさせてしまっている。
- ・自分の生活の仕方について、子どもへの配慮が十分でない人がいる。
- ・生活スタイルが大人中心。子どもの声を聞いてほしい。
- ・親の娯楽に子どもがつきあわされていることが多い。(2 件)
- ・衣食住、基本的な環境が子どもに適さない家庭がある。経済的な面ではなく、子育ての意識が低く、自分優先の親の態度のため。
- ・親が朝決まった時間に起きることができない。
- ・不規則な生活をしている方が多い。
- ・大人社会の反映だと思う。
- ・親中心で子どもを振り回し、生活習慣が乱れる。

(39)子どもに夜更かし(7 件)

- ・親中心の生活のため夜更かしをする。(2 件)
- ・親の活動に子どもを連れて行くので、睡眠時間が足りない。(4 件)
- ・子の寝かし方がわからない。

(40)自分の時間を優先にする親(8 件)

- ・子育てよりも自分の時間を大切にする親が増えている。
- ・子どもから離れ、自分だけの時間を少しでも多く持ちたいと思っている。
- ・子どもと関わる時間よりも自分の時間を優先している傾向が見られる。(3 件)
- ・子どもの心を無視して自分の生活を優先するのが気になる。
- ・子どものことより自分への関心に偏っている大人が多く感じる。
- ・自分の余暇が子どもより優先と考えている親がいる。

(41)親が疲れている・忙しい(4 件)

- ・お母さんが疲れている。
- ・親も日々の生活に追われ、多忙を極めている。
- ・長時間勤務で家庭で親にゆとりがない。忙しい親が増えている。
- ・忙しく、子どもを十分みていない。

(42)子どもが忙しい(2 件)

- ・子どもに自由時間が与えてほしい。
- ・土日は習い事などで忙しく、週明けはしんどい子が多い。

(43)子どもを預ける、預けたがる(20 件)

- ・預けっぱなしで、子どもとの接し方がわからない親も多い。
- ・園の時間が、自分で子育てする時間を上回っている。
- ・親の休みのときも保育所に預ける人が多い。
- ・子育てで逃避で入園を希望していると思うケースがある。
- ・子育てと仕事の両立に悩んでいる段階から、祖父母に任せっぱなしの母親が増えてきたように思う。
- ・仕事がなくても保育時間が長くなった。(2 件)
- ・仕事が休みでも園に預けに来る。もう少し子どもと関わる時間をつくってほしい。(4 件)

- ・長時間保育、一時保育など、見てほしいときにいつでも利用できるのに、自己犠牲がなく子育てができ、親として我慢して子育てする姿勢がない。お任せが多くなる。
- ・長時間保育に預けても平気、家にいても迎えにこない。
- ・長時間保育を望む声がある。
- ・母親の仕事の都合で迎えに来る時間が遅くなった。
- ・保育園に時間いっぱい預けたがる。仕事をしている分、子どもを見ていないので、その分仕事が終われば、すぐ迎えに来るとは限らない。
- ・保育時間がどんどん長くなっている。
- ・保育時間が長くなり、迎えが遅くなった親もいる。
- ・休みでも学童に預ける親がいる。
- ・親の都合で保育所に預けて買い物やお茶を飲んでいる姿が多く見られる。子どもの気持ちを考えてほしい。

(44)子育てと仕事の両立(5件)

- ・仕事と子育ての両立が難しいようです。
- ・仕事に忙しく、経済的に不安定な家庭が多く、子育てまで十分に気持ちがっていない。
- ・仕事を優先させ、子どもの気持ちを考えていない。(3件)

(45)挨拶ができない、言葉遣いが悪い(11件)

- ・挨拶ができない。(7件)
- ・挨拶がない親にはこちらから話しかけている。
- ・挨拶や言葉遣いなど基本的なマナーについて、家庭でのしつけが十分でない。
- ・ありがとうなど、言葉をきちんと言えない人が目立つ。
- ・言葉遣いが悪い。

(46)行儀が悪い、マナーが悪い(21件)

- ・親の行儀が悪い。(2件)
- ・親がマナーを守らない、自分の子どもしか見えていない。
- ・親自身の礼儀がないなど道徳心が欠如している親が目立つ。
- ・親の判断力が身についていない。
- ・親のモラル低下。参加日の靴の脱ぎ方、参観の仕方、先生への話し方。
- ・公共心の乏しい親が目につく。
- ・公共の場でのマナーを守れず。参観中の携帯電話。
- ・公共の場での意識が低いように思う。
- ・校内で携帯メールを平気でやるのは気分がよくない。
- ・子どものためを口実に、ルールやを守らない事が多い。
- ・子どもを迎えに来たときにも携帯で話し続ける親がいる。
- ・社会性、常識的行動が欠けている。
- ・社会的ルールの基本を教えることが苦手な親が多い。
- ・常識的なことがわからないことが多い。
- ・常識的なマナーが守れない。そのためしつけも甘い。
- ・常識のなさ。
- ・習い事に夢中で、基本的な社会面に常識がない。
- ・日常のマナーが気にならない人が目立つ。
- ・入学式などの行事で、親が子呼んでビデオに撮る姿が目につく。親の落ち着きがない。

- ・普通の親、当たり前親、常識のある親が段々少なくなっている。

(47)親の楽しみ、おしゃべりが優先(14件)

- ・PTAのレクでは自分の楽しさに集中してしまい、本来の親睦の意味は忘れがち。
- ・集まったら、自分たちだけでおしゃべりをしていて、自分の子を見ようとしない。(4件)
- ・親同士でおしゃべりが多く、子どもは大騒ぎになる。
- ・親同士の話が多く、子どもに話しかけない。子どもがサインを出しても気がつかない。
- ・子どもと遊ばないで、親同士の話に夢中、携帯でメールをしている。
- ・親が楽をしようとする。
- ・家族、子どもの生活よりも自分一人の時間を大切にしている。
- ・紙芝居などをしていても私語が多い。母親のストレス解消になる面もあるが…。
- ・行事などでの私語が多い。(3件)

(48)決まりごとが守れない(9件)

- ・時間がルーズ。
- ・子どもの所持品で忘れ物が多い。(2件)
- ・単純な決まりごとがまもられていない。(名札を縫いつける、服装、登園時間)
- ・提出物の期限が守れない、内容も充実していない。
- ・手紙類に目を通していない。(2件)
- ・学校で必要なものの準備ができていない。
- ・親も子どもと一緒に約束、規則を守ることができない。

(49)その他(18件)

- ・携帯で間違った情報が広がる。
- ・メールに夢中の親が目立っている。
- ・ケガやひっかきなど、相手がいる場合には許せない。
- ・個性とわがママをはき違えている。
- ・子育てに積極的な人とそうでない人の差が大きい。
- ・子に我慢させることを親が我慢できない。
- ・自分の子を細かく分析しすぎる親と、関心はあるが子育てができない親の二通りがいる。
- ・少しのことで学校を休む、親が休ませる。
- ・その場その場の判断で流れるところが多く、毅然とした面に欠ける気がする。
- ・特定の友だちをつくり仲間意識を高めている。
- ・何か問題が起きたときだけ園のせいになっている。
- ・何でも先回りしてしまう親が多い。
- ・必要なところに手をかけず、必要でないところに手をかけすぎる。
- ・勉強には熱心だが、友人関係には関心がない。
- ・夜間、自宅を留守にする親が多く、その間子どもをほったらかしにする。
- ・わが子は放任し、他人の子どもの世話をする親が増えている。
- ・家庭の中で親として問題がある親がいる。
- ・家事の手抜きが多い。

3. 地域活動グループの自由回答

地域活動グループからの自由意見としては、そのグループの活動に参加・利用している子どもとその親について気になることについて回答してもらった。主な意見は次の通り。なお、カッコ内の件数は延べ件数である。

1 子どもについて気になること

(1)親子関係(5件)

- ・親と一緒にだと甘え、消極的になりやすい。
- ・親子の対話の中で学ぶべきものが育っていない。会話が減少しているのではないか。
- ・親と十分接触してもらっていない。
- ・親との交流が少ない。
- ・親にあまり期待していない。

(2)過保護(1件)

- ・親の目が行きすぎ、過保護になりすぎている。

(3)親離れできない(4件)

- ・親から離れていることを不安に思っていることが多い。人との接触が小さい頃から少ないと思われる。
- ・親から離れられない子が多い。(3件)

(4)甘え(1件)

- ・先生やボランティアを一人じめする子が多い。

(5)意欲がない(1件)

- ・家も学校も楽しくない。

(6)表現が苦手(1件)

- ・あまり感情を表さない。

(7)落ち着きがない(11件)

- ・落ち着きがない、自己中心的。

(8)感情がコントロールできない、情緒不安定(10件)

- ・気に入らないと、すぐ泣く。
- ・切れる子、突発的な行動が多い。(2件)
- ・自分の思いを通すために手が出る。
- ・自分の気持ちをコントロールできない。
- ・自分本位ですぐパニックになる子が多い。
- ・情緒の不安定な子が目立つ。切れる子が多い。(4件)

(9)暴力的(2件)

- ・ちょっとしたことでカッとし、すぐ手が出る。

(10)思いやりがない(2件)

- ・思いやりに欠ける子が多く感じる。
- ・友人との人間関係で、人の心を思いやるという感情面まで立ち入らず、ゲームのようなつきあい方になっている面が見受けられ、不安である。

(11)我慢できない(2件)

- ・飽きっぽい、難しいことに直面したらすぐ諦める。
- ・嫌なこと、面倒くさいことをしない。

(12)ストレス(1件)

- ・いじめや人間関係のストレスの低年齢化。

(13)自分を表現できない(6件)

- ・感情を言葉で表現するのが下手。
- ・気持ちを言葉で表現できない。
- ・自分の意見をはっきり言うことができない。
- ・自分の意志を伝えることができない。
- ・表情がとぼしい。
- ・無表情な子がいる。

(14)基礎能力の低下(1件)

- ・説明を聞いて理解し実行することができない。

(15)自己中心的、わがまま(25件)

- ・親任せ、そのくせわがまま。
- ・我慢できない。(2件)
- ・けじめがついていない。
- ・個性とわがままの違いがわからない。
- ・自己中心的な面が多く、他人への思いやりに欠ける点がみえる。(4件)
- ・自己欲が強く、協調性にかける。
- ・自分勝手な行動が多く、人の話を聞こうとしない。(5件)
- ・やりたい放題の子どもが多くなっている。
- ・わがまま(9件)

(16)心的障害、発達障害(3件)

- ・軽度発達障害につながるのではないかと、気になるお子さんもいる。
- ・多動的である。
- ・人の目をみない多動な子がいる。

(17)自分でしない・できない(11件)

- ・親に言われて集まる。
- ・子どもの積極性のなさが気になる。
- ・指図しないと動こうとしない子がいる。(2件)
- ・主体性、自主性が弱いこと。(5件)
- ・自主性と集中力を高めることが少ない。
- ・すぐ頼ろうとする。

(18)挨拶、返事、会話ができない(18件)

- ・挨拶、返事ができない子が多い。(14件)
- ・親子とも、ありがとうを笑顔でいえない。
- ・意見を求められても答えられない。
- ・話しかけても黙っている。
- ・返事ができない。

(19)運動能力・体力の低下(1件)

- ・転んでも手をつかない。

(20)しつけ(17件)

- ・言わないと、後始末をしない。
- ・オムツがとれる時期が遅くなってきている。(3件)
- ・片づけが最後までできない。(2件)
- ・家庭のしつけができていない。(10件)
- ・基本的な生活習慣が教育されていない。

(21)言葉遣いが悪い(9件)

- ・言葉遣いが乱暴。(4件)
- ・言葉遣いが悪い。(4件)
- ・言葉遣いが大人のように。

(22)言葉の遅れ(1件)

- ・言葉が少ない。

(23)モラルの欠如(1件)

- ・他人に迷惑をかけても知らん顔。

(24)元気がない、疲れている(1件)

- ・子どもが疲れている。

(25)アレルギー(1件)

- ・アレルギーの子どもが増えているように思う。

(26)子どもの時間がない(11件)

- ・忙しすぎる。(3件)
- ・親子ともにゆとりがない。
- ・習い事等が多く、子どもが遊ぶ時間が少ない。(7件)

(27)経験不足(1件)

- ・あらゆる面で経験が少ない子どもが多い。

(28)食事・栄養(6件)

- ・食事の偏りがある。

- ・食事をきちっととっていないのではないか。
- ・好きな物ばかり食べている。
- ・朝食抜きが多い。(3 件)

(29)生活習慣 (2 件)

- ・生活のリズムが乱れ、子どもたちがいつも疲れている。

(30)遊びが少ない (4 件)

- ・遊びに飢えているようにも思う。反面長続きしない。
- ・遊ぶ時間が少ない。
- ・外遊びが少ない。(2 件)

(31)大人との対し方 (2 件)

- ・遊びのルールが守れない、注意しても聞かない。
- ・大人の言うことを聞かない。

(32)親が居る時、居ない時で態度が変わる (13 件)

- ・遊んでいても親の目を気にしてのびのびできない子がいる。
- ・いい子に育てたいという親の思いにこたえようとする子がいることが気になる。型破りは歓迎されない。
- ・親の前ではいい子なのに、大人の話を受けない。(4 件)
- ・自分の親の前だと必要以上に良い子になろうとする。
- ・親の顔色をみて行動する子がいる。(4 件)
- ・親や先生の前ではいい子、大勢の子の中ではやりたい放題。そんな子が増えている。
- ・自分の親がいるときといないときの態度が明らかに違う。

(33)好きなことだけ (1 件)

- ・お菓子をもらったり、自分の得になる行事には参加するが、汗を流したり奉仕活動には参加しない。

(34)協調性がない、積極性がない (6 件)

- ・協調性のない子がずいぶん多い。(2 件)
- ・積極的な行動が見えない。(2 件)
- ・無気力で他人の心の痛みが理解出来なくなっている。(2 件)

(35)集中力がない (9 件)

- ・静かに話を聞くことができない。
- ・集中力がない。(4 件)
- ・じっと座って人の話を聞くということができない。集中力の持続に欠ける子が多い。(2 件)
- ・忍耐力の欠如、自己中心的な言動が多い。
- ・のびのび好きなことに没頭することがない。

(36)話を聞けない、聞かない (7 件)

- ・指導者や他の親のいうことを聞かない。
- ・注意しても反応がない。

- ・人の話をきちんと聞けない。(5 件)

(37)テレビ、ビデオ、ゲーム (3 件)

- ・ゲームがないと、何をして遊んでいいかわからない。
- ・ゲームなど個人的な遊びをする子が多い。
- ・友だちよりゲーム優先の子が目立つ。

(38)集団生活が苦手 (10 件)

- ・集団生活になじめない。(2 件)
- ・集団で行動することが苦手な子が多くなっていると思う。
- ・集団の遊びになじめない。自分勝手な行動が多い。
- ・複数の関係がうまくとれない。
- ・社会性が身につけていない。日常生活のルールが守れない。
- ・自由気ままな子どもが多くなっている。
- ・集団で遊ぶ機会が少ない。(2 件)
- ・身勝手な行動が目立つ。

(39)子ども同士の関わりが苦手、分からない (18 件)

- ・おもちゃを共有して遊べるようになるまでかなりの時間がかかる。
- ・子どもだけで仲間づくりができない。(4 件)
- ・子ども同士うまく関わらず、いざこざが多くなる。(4 件)
- ・子ども同士で遊ぶ経験が少ないように思う。(4 件)
- ・子ども同士の会話ができない。
- ・子ども同士の思いやりがない。
- ・他の子どもとの交流に時間がかかる。
- ・団体に入れられない子どもがいる。

(40)その他 (22 件)

- ・異世代との交流ができない。
- ・縦のつながりが少ない。
- ・親の都合で参加できない子がいる。
- ・活動に参加しない子が気になる。
- ・活発でない。
- ・小遣いが多い。
- ・子ども自由時間が長すぎる。遊び場探しをしているので気の毒。
- ・子どもと接する時間が少ないと思う。
- ・子どもの居場所づくりをしているが、来てほしい子どもは親の送迎の関係で、関心のなさで子どもは来る意欲があるのに参加できない。
- ・参加者が固定化する傾向がある。
- ・自分の子には熱心であるが、他の子に思いやりにかける子が多い。
- ・自由奔放な子が増えているように思う。
- ・順番、おやつが待ってられない。
- ・何をしても叱られないと思っている。
- ・ハイハイの期間が短い。
- ・一人遊びができない。

- ・不器用な子が多くなったように思う。
- ・本を借りない、本を読まない子が多い。
- ・もっと自然に興味をもってほしい。
- ・余裕がない。
- ・リーダーシップを取れる子が少ない。
- ・利用する子どもはいつも決まっている。

2 親について気になること

(1)子どもとのコミュニケーション不足(20件)

- ・愛情をもって自分の子は責任をもって育てていくという態度をもってほしい。
- ・家での会話を増やしてほしい。(3件)
- ・育児は簡単じゃない、しっかり手をかけることだと思う。
- ・笑顔で子どもに接することが欠けている。
- ・子どもと一緒に遊ぶ姿勢がない。預けて傍観している。(3件)
- ・子どもと一緒に活動に参加してほしい。(3件)
- ・子どもと関わるのが好きでない親もいる。
- ・子どもとコミュニケーションが少ない。忙しいことは分かるが、子どもとの時間をとってほしい。
- ・子どもと接する時間が少ないのではないか。(2件)
- ・子どもと向き合って生活してほしい。
- ・じっくり子どもと対応する人が少なくなってきた。
- ・子どもとの交流が少ないように思う。
- ・子どもとの接し方がわからない。

(2)子どもとのスキンシップの不足(4件)

- ・スキンシップを嫌がる。
- ・なんでもお金で解決できていると思っている。スキンシップが不足している。
- ・親が子どもと遊んであげない。(2件)

(3)感情的、神経質(4件)

- ・子どもの出してくる問題点に、イライラしてなかなか子どもをまるごと受け入れることができない。
- ・自分の感情のまま叱る人が多い。(2件)
- ・理由を説明せず、がみがみ怒る。

(4)非協力的、他人任せ(15件)

- ・預ける場所に任せっぱなし。(2件)
- ・受け身でやってもらうのが当たり前という感覚。(2件)
- ・企画して実現するより、その場のみの協力ならするが、苦勞するのはいやだという人が多いように思う。
- ・協力的な親とそうでない親がはっきりしている。
- ・子育てについて勉強してほしいと思う親ほど、講習会や行事に参加しない。
- ・些細なことでも自分から動かず、ボランティアの人がやってくれるまで待っている。
- ・スタッフの姿をみても、手伝おうとしない親が多くいる。
- ・他人任せ。(3件)
- ・他の人と協力してものごとをやり遂げる体験が少ない。
- ・誰かがしてくれるなら、という考えが多いかもしれない。
- ・人に頼りたがる。

(5)挨拶ができない、言葉遣いが悪い(9件)

- ・挨拶、お礼の言葉をあまり聞かない。(3件)
- ・挨拶もそこそこに帰ってしまう。「早くしなさい」が口癖の保護者が目立つ。

- ・基本的な挨拶ができない。(3 件)
- ・言葉遣いが悪い。
- ・子どもが挨拶ができないことを気にしていない。

(6)親の楽しみ、おしゃべりが優先 (10 件)

- ・親が主体的になりやすい。
- ・親同士の話に夢中で子どもそっちのけになっている。(4 件)
- ・講師の話し中に親同士でおしゃべりをする。(3 件)
- ・子どもを遊ばせているとき、携帯やおしゃべりに夢中になっている。
- ・サロンで、赤ちゃんに声をかけない母親が目につく。自分は他の母親とおしゃべりをし、子と一緒に遊ぶ様子が見られない。

(7)しつけをしない、できない (18 件)

- ・家での子育てやしつけがあまりできていない。
- ・子どもに言い聞かせている場面をみるのが少なくなった。
- ・子どもの自制心や社会性を教えていない。
- ・しつけができていない。(8 件)
- ・最低限のしつけは親の責任と心得てほしい。(2 件)
- ・しつけを子育て支援事業の中でしてくれるものだと思っている母親が多い。
- ・社会適応性より、勉強さえ出来ればいいと思う親が多い。
- ・善悪をはっきり教えることができる親が少ない。あまりにも自由、社会教育が必要。(2 件)
- ・注意が必要なときに注意をしない。

(8)叱らない (17 件)

- ・今怒るべき、注意すべきだと感じるとき、親が笑って許していることが良くある。
- ・厳しく叱る親が少なくなった。
- ・子どもが騒いでも叱る親がいない。
- ・子どもを叱らない、注意しない。(9 件)
- ・子どもを叱るところを間違っている人が多い。
- ・自信をもって叱れない親が多い。
- ・他人に迷惑をかけても子を叱らない。
- ・話を聞く場で自分の子どもが騒いでいても注意しない親が多い。
- ・物事のよし悪しを教えてほしい。叱らない親がいる。

(9)行儀が悪い、マナーが悪い (7 件)

- ・親が自立できていないので、子どもに対するしつけができていない。
- ・親が場所をわきまえない。
- ・行儀、マナーが悪い。
- ・自分の子がお漏らしをしても後始末をしないことがある。
- ・人の話を聞くときのマナーがなくなった。私語が多く、その場の節度を考えられない親が多くなったように思う。
- ・基本的な生活習慣、心の安定などがおろそかになっている。
- ・基本的な礼儀を知らない。

(10)子どもをみていない (10 件)

- ・自分の子どもをよくみていない。(5 件)
- ・もっと、もっと子どもに愛情を注いでほしい。
- ・もっと子どもと向き合ってほしい。
- ・もっと子どもに関わってほしい。
- ・子どもの日頃の行動をもっと見守ってほしい。
- ・目の前のことにとらわれずに大きい目でみてほしい。

(11)他の子を注意しない(2 件)

- ・他人の子どもを注意できるような親同士の信頼がない。
- ・他人の子を注意できる親が少ない。

(12)きちんと食事をしない、させない(7 件)

- ・おやつ放任。
- ・子どもの食事に気をつけてほしい。
- ・食事を重要視していない。
- ・食生活に問題がある、不規則、栄養のバランスなど。
- ・食の安全を学習してほしい。
- ・手作りのおやつに関心がない。
- ・弁当持参のとき、手作り弁当でないのが気になる。

(13)大人中心の生活・行動(4 件)

- ・大人の生活に子どもを巻き込んでいることが当たり前になっている。
- ・親が子どもよりも自分の欲求を優先してしまう。
- ・親が自己中心的である。
- ・子ども第一に考えない親が多い。

(14)親が疲れている・忙しい(16 件)

- ・忙しすぎて子どもとの対話が足りないのではないかな。
- ・忙しすぎて地域活動への参加が少ない。(2 件)
- ・親が忙しすぎる。(2 件)
- ・親が働いているので、時間がない様子。
- ・親子ともに忙しい、ゆっくり楽しみながら時をすごしてほしい。
- ・時間をかけて相談に応じたいが、忙しい親を多く感じる。
- ・仕事、自分の趣味に時間をとり、子どもはほったらかしの親が多い。子どものことを知らなさすぎる。
- ・仕事の都合で継続、定期的に利用できる人が少ない。
- ・とにかく時間がなく、活動をして子どもだけ会場に来て、終了時に迎えにくるケースが多くなった。
- ・仕事で忙しく、子どもの気持ちに気がつかない。
- ・仕事を持っている人が多く、忙しすぎる。そのため、子どもの日常をわかっているのかと思う。
- ・働いている母親が多く、時間がとれない。
- ・毎日時間に追われており、子どもとゆったりかかわる時間が少ない。
- ・毎日仕事に追われ、余裕がない。

(15)子どもが忙しい(2 件)

- ・お稽古ごとが多すぎるのではないか。
- ・学習塾やスポーツ少年団等が優先し、本当の子育てとなっているか疑問。

(16)子どもを預ける、預けたがる(11件)

- ・親が自分の時間をつくるために子どもを預けにくる。(5件)
- ・親子参加の行事に子どもだけの参加が多くなっている。(3件)
- ・子どもを預かっていると、ずっと他の親とおしゃべりばかりで平気である。
- ・子どもを預けっぱなし、関心がない。もっと関心をもってほしい。
- ・子どもを預けっぱなし、もっと協力してほしい。子どもの様子を見に来てほしい。

(17)決まりごとが守れない(2件)

- ・時間にルーズ。
- ・子どもの指導方針がそれぞれなので、一緒に行動する際、約束事を決めたいが、うまくいかない。

(18)他者との交流が少ない、苦手(15件)

- ・大勢の中で自分の子どもが見られない。自分本位でなかなか他の人と交流を求めない。
- ・親同士のグループができると、それ以外の人と話さない。
- ・親同士の交流がへた。(2件)
- ・関係づくりができない人が増えている。
- ・コミュニケーションを図ろうとする親が少ない。
- ・サロンに来ない、来られない親子が気になる。
- ・参加者同士で交流できない親がいる。
- ・自分から友だちをつくり、子どもと遊ぶことができない親が多い。(2件)
- ・自分の殻に籠もって交流ができない。(2件)
- ・団体行動ができない。自分だけは許されると思っている。
- ・人と協調することに苦痛を感じる人が目立つ。
- ・人との交わりの中で子どもを育てることをもっと認識してほしい。

(19)地域との交流がない(4件)

- ・集合住宅の方、他地区から引っ越してきた方で、閉塞感をもつことが多い。
- ・地域行事にあまり関心を持っていない。(2件)
- ・人間関係、近所とのつきあいを大事にしてほしい。

(20)子育て支援、情報について(11件)

- ・関心がある方とそうでない方の温度差がかなりある。
- ・行事に参加しても一緒に盛り上げようとしめない。
- ・行政等に頼る傾向がある。
- ・権利を主張する。
- ・子育て支援をしてもらって当たり前の考えのある人がある。
- ・子育て支援を「任せる」と勘違いしている。
- ・子どもだけ参加させる親がいる。親は家にいるのに出てこない。
- ・子どもたちの成長過程の配慮がない。大人本位である。
- ・子どもの居場所づくりに保護者が参加しない。
- ・子育てに追われ、子どもを取り巻く環境が乱れていることに無関心。

- ・子育てに関する情報に振り回されて不安を抱えている。情報が一方通行だからだと思う。

(21)活動を理解してほしい(5件)

- ・サークルにゆとりをもって参加し、楽しんでほしい。
- ・サークルやサロンに来れない親をどのように参加させるかが課題。
- ・サークルを託児所だと思っている。
- ・サービスが、親の井戸端会議のようになっているのが気になる。子どもにも目を向けてほしい。
- ・自然教室など事故をおそれず参加してほしい。

(22)他者を気にする、比較する(5件)

- ・他人の目を気にして行動する。
- ・他人を基準にしてものごとを考える傾向があえる。
- ・他の子と比べて自分の子を追い立てるところがある。(2件)
- ・他の人といつも比較して育児しているように思う。

(23)自分の時間を優先にする親(6件)

- ・子どもよりも自分のやりたいことを優先させる。(5件)
- ・自分本位で子どもを振り回している。

(24)親が成長していない(24件)

- ・親が親になりきっていない。
- ・親が未熟で自分の親に頼っている。
- ・親自身が自立していない。
- ・親自身の教育が必要。(4件)
- ・親自身の子育ての方針がない。
- ・親としての自覚が足りない。(4件)
- ・親としての責任感が薄い。
- ・親になりきれしていない。(2件)
- ・親の学習会が必要だし、自らもっと学習すべき。
- ・親の育つ場所づくりが必要。
- ・親は親として、稟としてもらいたい。
- ・家庭教育を強化してほしい。
- ・考え方が幼稚である。(2件)
- ・子どもが子どもを育てているように見えるときがある。
- ・友だち親子が多い。
- ・親子で離れられない方がいる。

(25)子どもに甘い、言いなり(15件)

- ・可愛がりすぎ。甘すぎる。(6件)
- ・子どもに気を遣いすぎる。
- ・子どもに敬語を使っている。
- ・子どもに振り回されている。
- ・子どもの言いなりで、家庭教育としてのケジメに欠ける。
- ・子どもの裏の面が見抜けないので、子どもをちやほやする親が多い。
- ・子どもの機嫌を親がうかがっている。

- ・子どもを自立させる姿勢がなく、溺愛している。
- ・子に遠慮している。
- ・子どものいいなり。

(26) **自己中心、わがまま** (9 件)

- ・自己中心が多く、協調性がない。(6 件)
- ・自己中心的で、子どもの身になって一緒にものごとを解決していこうという姿勢が稀薄。
- ・自己中心的で上の世代の人たちを信用していない。
- ・自分だけよければ周囲などどうでも良いという姿勢が目立つ。

(27) **大人同士の関係を子どもに影響させる** (1 件)

- ・親の人間関係に子どもが影響を受ける。

(28) **相談相手がいない** (3 件)

- ・悩みがあっても聞いてくれる人がいないので、困っている様子。
- ・一人で困っている一面がある。
- ・若い母親が相談する人もなく、一人で悩むことが多いように思う。

(29) **責任感がない** (4 件)

- ・子育てに責任をもつべき、保育園や学校に任せすぎる。
- ・子育てについての責任感が稀薄である。
- ・子どもをほったらかしにしている無責任な親が多い。
- ・自分の子どもに責任をもって、自信をもって育てるべきだと思う。

(30) **ゆとりがない、余裕がない** (3 件)

- ・もう少し時間と心のゆとりをもって子育てをしてほしい。
- ・自分のことで精一杯で子どもの気持ちを受け止めていない
- ・もっと余裕をもって子育てをしたらいいのではないか。

(31) **子育てが分からない、自信がない** (9 件)

- ・育児についての不安がけっこうある。話を聞いてもらえることで解決している人が多い。
- ・親が自分に自信がないように思う。ゆったり構えてほしい。
- ・子育てに自信が持てない。(3 件)
- ・子育てに不安を抱いている。
- ・自分の子どもがわかっていない。
- ・子どもの育て方に疑問や不安を持っている親が多い。
- ・自由に育てたいが、どこまで自由にしていいかわからない、という質問をよく受ける。

(32) **子どもを理解していない** (4 件)

- ・子どもの実態を知らないなので、どうしていいかわからない。
- ・子どもの性格を理解していない。
- ・子どもの発達段階を把握できていない。
- ・子どもの発達の大きな知識は有る程度は知っていてほしい。

(33) **喫煙** (1 件)

- ・子どもの前で煙草を吸う。

(34)他人の意見を聞かない(6件)

- ・思い込みが強いと、他を寄せ付けない。
- ・他者の意見を聞かず、自分の子どもをかばう。
- ・正しいことを教えても、子どもが叱られたと親子一緒になって怒っている人も多い。
- ・他人の話の聞かない親が増えた。(2件)
- ・もう少し先輩たちの意見を聞いて、良い点はやってみてもいいのではないかと思う。

(35)自分の子ども、仲間だけ(17件)

- ・自分のグループだけ仲良し。
- ・自分の子どもしか見ない親が多い。(10件)
- ・自分の子さえよければ、他人の子には無関心。(4件)
- ・自分の子ども中心のおしゃべりばかりしている。地域に関心をもつようにならないものか。
- ・特定の親同士で交流している。

(36)父親の役割が少ない(2件)

- ・父親の参加がほとんどない。
- ・父親の姿がみえない。

(37)自己判断できない(1件)

- ・親がものごとの善し悪しを判断できていない。

(38)学力重視(2件)

- ・学習的なイベントの参加者が多く、親の価値観が知識偏重となっている。
- ・学力や見た目にとらわれている親が多いように思う。

(39)過干渉、過保護(9件)

- ・親の目が届きすぎている。
- ・過保護、過干渉の親が多い。関わり方、関わってほしいところが違うような気がする。(5件)
- ・子どもから離れられない。
- ・すぐ親が手を出してしまう。見守ろうとする気持ちがない。
- ・子どもの行動に干渉しすぎる

(40)子どもに無関心(23件)

- ・子どもが暴れていても無関心。(2件)
- ・子どもが周囲の人に迷惑をかけても知らぬ顔をしている。(3件)
- ・子どもが何かしていても、良いこと、悪いことに反応がない。
- ・子どもに関心がない親がいる。(8件)
- ・子どもに対し目配りがない。親の危機意識がない。
- ・子どもにタイミングよく声をかけたり、子どもの要求に対応することができない親が増えつつあるように感じる。
- ・もう少し自分の子どもに関心をもってほしい。
- ・子どもが遊んでいるとき見ていない。
- ・子育てに対し第六感が働かなくなっているような親が多い。

- ・子どもの気持ちを大切にしてみっと大きな気持ちでゆったりと子どもを見つめてほしい。
- ・子どもの心のひだを読み取れない、読もうとしない。
- ・放任的な方がいる。
- ・放任と自由の履き違い。

(41)過干渉、無関心でバランスが悪い(5件)

- ・親子密着型、放任型にわかれ、冷静に間をおいた子育てをしていないように思う。
- ・放任、過保護両極端である。(4件)

(42)子どものペット化(1件)

- ・子どもをペットのように扱っている場合がある。

(43)子育てを楽しむ親が少ない(5件)

- ・子育てが楽しいと思っている親が少ない。(2件)
- ・子育てで自分の時間がないとストレスと感じる人も多いように思う。
- ・子育てを楽しんでいる人と負担に考える人の差が大きいように思う。
- ・保育園に入れるために仕事を探すといる方がいる。そのときしかできない、楽しい子育てがあるはず。

(44)子どもの意思を聞かない(10件)

- ・親の意思中心の子どもへのかかわりをしている。
- ・子どもの意思をもっと知ってほしい。
- ・子どもを親の型に入れすぎている。
- ・子どもをもっと自由に遊ばせてほしい。
- ・自分の意向を子どもに押しつけている。(2件)
- ・子どもの話を十分聞かず、すぐ叱るのが気になる。
- ・子どもの話を親身に聞いてやっていないと思う。
- ・要求することが多い。

(45)その他(7件)

- ・手抜きの子育てが良いと思っている親が増えている。親が楽なことを優先して子育てしている。
- ・何を考えているのかわからない。
- ・もう少し感謝の気持ちがあればと思う。
- ・友人のような親にあこがれている方がいる。
- ・楽なほうに傾いていくように思う。
- ・外出するとき、おしぼり、お茶などを用意する親がすくなくなった。
- ・バスの冷房の中で子どもが寝たとき、タオルなどを持っていない親が多い。